

令和5年度

教育委員会点検・評価報告書

令和6年10月

登別市教育委員会

目 次

I 教育委員会の点検・評価について	2
II 評価の手法	2
1 点検・評価の対象	
2 実施の流れ	
III 評価結果	3
1 教育委員会の活動状況の概要報告	3
2 重点施策の評価	7
3 重点施策の評定結果	58
IV 点検・評価に関する学識経験者の意見等	61
V 評価のまとめ	63
VI 参考資料	
1 令和5年度教育行政執行方針（64）	
2 教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ（69）	

I 教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の改定により、毎年教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされ、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされた。

登別市教育委員会では、効率的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たしていくため、地教行法に基づき、令和5年度の教育委員会の活動状況の報告と基本方針及び重点項目の主な施策（16項目）について点検・評価を行い、教育に関する学識経験を有する方々の意見を付して「教育委員会点検・評価報告書」としてまとめた。

本報告書を公表することにより、市民の皆様は教育に関する事務の管理及び評価の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ることとする。

II 評価の手法

1 点検・評価の対象

登別市教育委員会の点検・評価は、教育委員会の活動状況の他、令和5年度の教育行政執行方針に位置づけられた施策・事業を点検・評価の対象として実施した。

2 実施の流れ

(1) 教育委員会の活動状況の概要報告

教育委員会の1年間の様々な活動について

(2) 令和5年度の重点施策の管理及び執行状況の評価

- ・教育行政執行方針に位置づけられている重点施策を評価した。

点検内容	当該年度の教育行政執行方針の重点内容
取組状況	当該年度内に実施した取組の概要
評価	取組の実施状況に対する評価
今後の方向性	今後の取組を進める上での課題や対応の方向

(3) 教育行政執行方針における重点施策の評定結果

- ・4段階（A～D）で、評価を実施した。
 - A：達成しているもの
 - B：おおむね達成しているもの
 - C：達成見込みであるが一部課題があるもの
 - D：達成に向け困難な課題があるもの

(4) 点検・評価に関する学識経験者の意見等

- ・点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する行政外部の方からの意見、助言をいただいた（令和6年10月11日）。

氏名	所属等
佐藤 幸夫 氏	日本工学院北海道専門学校 副校長
斉藤 俊之 氏	登別市退職校長会 副会長
吉野 幸広 氏	元登別市郷土資料館 館長

Ⅲ 評価結果

1 教育委員会の活動状況の概要報告

(1) 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議については、毎月一回、開催した。令和5年度は、必要に応じて開催する臨時会議を開催しなかった。

会議においては、登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則に従って、教育長委任事務以外の事務における議案の提案理由や説明が行われた後、各委員からの質問・意見などの審議を経て、いずれも可決、了承された。また、事務局からの情報提供や各種課題、事業の進捗状況、その他事項の報告について、意見交換を行った。

(2) 令和5年度 登別市教育委員会「定例会議」の概要

第1回 会議	4/27 16:30	議案第1号 登別市立図書館協議会委員の任命について 議案第2号 登別市教育委員会会議規則の一部改正について 議案第3号 登別市教育委員会会議傍聴規則の制定について 情報提供 (1) 令和5年度 学校施設等の工事計画について (2) 令和5年4月10日時点登別市立学校児童生徒数・学級数調書について (3) 令和5年度登別市立学校主要行事等予定一覧について 意見交換から(委員の意見・感想) ○特別支援学級のお子さんの割合が増えているように感じるが、全道・全国的に割合が増加しているのか。また、基準等が変わったなどの要因はあるか。 (事務局)保護者のご意向に沿いながら学級編成を行っており、特に基準が変わったなどはないが、結果的に割合が増加しているというのが現状と考える。
第2回 会議	5/25 16:30	議案第4号 登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 議案第5号 登別市社会教育委員の委嘱について 議案第6号 登別市スポーツ推進委員会委員の委嘱について 議案第7号 登別市重大事案対策委員会委員の委嘱について 情報提供 (1) 携帯電話やスマートフォン等のアンケート調査分析結果について (2) 令和4年度巡回パトロール活動及び街頭指導等の状況について (3) 令和4年度不審者等出没状況について 意見交換から(委員の意見・感想) ○闇バイトや違法薬物等の報道を見ると、SNSが使われていることが多いことからSNSへの対応を意識した取組を行うことが良いと感じている。
第3回 会議	6/29 16:30	報告第1号 令和5年第2回登別市議会定例会一般質問について 報告第2号 登別市重大事案対策委員会委員の委嘱に係る臨時代理について 議案第8号 令和4年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価に係る学識経験者の活用及び選任について 情報提供 (1) 郷土資料館特別展について
第4回 会議	7/27 16:30	情報提供 (1) 登別中学校の統合に関する方針(案)の策定及び意見公募(パブリックコメント)の実施について

		(2) 郷土資料館特別展について
第5回 会議	8/31 16:30	報告第3号 教職員人事の内申に係る臨時代理の報告について 情報提供 (1) 令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について (2) 令和5年度全国学力・学習状況調査の分析結果について (3) 新たな地域クラブ活動の開始について (4) 市民スポーツ・健康フェスティバルについて (5) アイヌ文化振興事業の実施について
第6回 会議	9/28 16:30	報告第4号 令和5年第3回登別市議会定例会一般質問について 報告第5号 教育委員会事務局職員の休職発令に係る臨時代理について 報告第6号 教育委員会事務局職員の人事異動に係る臨時代理について 報告第7号 登別市教育委員会委員の任命について 議案第9号 登別中学校の統合に関する方針の策定について 情報提供 (1) 第4次登別市子ども読書活動推進計画(案)について 意見交換から(委員の意見・感想) ○新聞等で見たが、地域の商店などに図書館の本をおいて身近に本に触れられる取組を行っていたところがあったので、そういった視点があっても良いと考える。 (事務局)本市では、市民の方々がライブラリーの取組を行っている。アーニスや市内飲食店などに本を置く取り組みで、図書館も協力させていただいている。今後の取組の参考とさせていただきたい。 ○新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、子どもたちの身体的・心の影響がどれくらい残っているかいないのかデータがあれば教えて頂きたい、無ければ今後のためにも年1回程度とった方が良いのではないかと。 (事務局)現在そのようなアンケートは行っていない。今後検討したい。
第7回 会議	10/26 16:30	報告第8号 教育委員会事務局職員の人事異動に係る臨時代理について 報告第9号 教育委員会事務局職員の休職発令に係る臨時代理について 議案第10号 令和4年度教育行政執行事務の管理執行状況の点検・評価報告の作成について
第8回 会議	11/30 15:00	報告第10号 登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について 報告第11号 教育委員会事務局職員の人事異動に係る臨時代理について 議案第11号 登別市学校医表彰について 情報提供 (1) 「土曜授業」に関する今後の方向性について 意見交換から(委員の意見・感想) ○ふれあいDAYは、自由に玄関を出入り出来るため、どのように安全面に配慮されているのか。 (事務局)玄関先に教員などが立ち不審者が立ち入らない、また、時間帯によっては施錠するなどとしていたが反省点があると感じている。次年度に向けて検討していきたい。
第9回 会議	12/21 16:30	報告第12号 令和5年第4回登別市議会定例会一般質問について 報告第13号 令和5年第4回登別市議会定例会緊急質問について 議案第14号 登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について

		<p>報告第15号 教育委員会事務局職員の休職発令に係る臨時代理について</p> <p>報告第16号 教育委員会事務局職員の休職発令に係る臨時代理について</p> <p>議案第12号 登別市立幌別東小学校の廃止について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 令和6年度教育行政執行方針(案)概要について</p> <p>(2) 学校給食センターの広域設置について</p> <p>(3) 令和6年登別市二十歳のつどいについて</p>
第10回 会議	1/25 16:30	<p>報告第17号 教育委員会事務局職員の人事異動に係る臨時代理について</p> <p>報告第18号 教育委員会事務局職員の休職発令に係る臨時代理について</p> <p>議案第13号 令和6年度登別市教育行政執行方針について</p> <p>議案第14号 登別市学校管理規則の一部改正について</p> <p>議案第15号 登別市立学校体育施設(屋内運動場)開放事業実施要綱の一部改正について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 第3回ピンクシャツ大作戦in登別について</p> <p>(2) 学校給食共同調理場の広域設置・運用に関する合意書について登別市における学校部活動の地域移行に向けた取組について</p> <p>(3) 令和5年度図書館要覧について</p> <p>(4) 令和5年度小・中学生読書感想文コンクールについて</p>
第11回 会議	2/22 15:30	<p>報告第19号 登別市議会臨時会提出議案に関する意見に係る臨時代理について</p> <p>報告第20号 登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について</p> <p>報告第21号 登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について</p> <p>報告第22号 登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について</p> <p>報告第23号 教育委員会事務局職員の復職発令に係る臨時代理について</p> <p>報告第24号 教職員の懲戒処分の内申に係る臨時代理について</p> <p>議案第16号 第4次登別市子ども読書活動推進計画の策定について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 令和6年度教育行政執行方針について</p> <p>(2) 市内小中学校の令和5年度卒業式及び令和6年度入学式の日程について</p> <p>(3) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果分析について</p> <p>(4) 北海道登別明日中等教育学校 市内小学校受検状況について</p> <p>(5) 学校給食共同調理場の広域設置・運用に関する合意に基づく確認書の取り交わしについて</p>
第12回 会議	3/28 16:30	<p>報告第25号 令和6年第1回登別市議会定例会一般質問について</p> <p>報告第26号 教育委員会事務局職員の人事異動に係る臨時代理について</p> <p>報告第27号 教職員人事の内申に係る臨時代理について</p> <p>議案第17号 教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告第28号 教育委員会事務局職員の人事異動に係る臨時代理について</p> <p>報告第29号 教育委員会事務局職員の人事異動に係る臨時代理について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 登別市立小中学校「土曜授業」令和5年度実績について</p> <p>(2) 令和5年度コミュニティスクール(学校運営協議会)の実施状況について</p> <p>(3) 【幌別中学校・登別中学校】統合後の環境整備等に関する方針</p>

	<p>(校名等/制服/通学方法) について</p> <p>(4) 令和5年度 進路状況について</p> <p>(5) 郷土資料館特別展「はじめまして!」について</p> <p>意見交換から(委員の意見・感想)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の分類が変わり、様々な面で元に戻り活気が出てきていると感じる。リモートの授業や会議では熱が伝わらない所もあり、対面の大切さが身にしみて感じている。状況を元に戻すのではなく、さらに進化していかなければならないと考える。</p> <p>○まだまだ学校は課題が多く、先生方も大変であると思うので、また皆さんと頑張っていきたい。</p> <p>○卒業式を簡素化している学校とコロナ禍前と同じで行っている学校があるので、それぞれ情報交流を図りながら実施することが必要と感じた。また、令和8年度に新庁舎が完成するが、それを活用し、子ども達が有意義に活動できるように繋げていきたい。</p> <p>(事務局) 次年度に向けてさらに登別の教育を充実させていきたい。</p>
--	---

(3) 調査活動の実施状況

教育委員会委員による小中学校の教育活動の視察や研修活動の概要

①公開研究会等の視察

- ・富岸小学校公開研究会 11/17

②教育ふれあいウィーク

- ・鷺別中学校、幌別中学校、西陵中学校、登別中学校 10/28
- ・青葉小学校 11/11
- ・緑陽中学校 11/18

③各種会議・研修会の参加

- ・北海道都市教育長会春季定期総会(美唄市) 5/10、秋季定期総会(稚内市) 11/15
- ・全国都市教育長協議会(帯広市) 5/18~19
- ・北海道特別支援教育振興協議会評議員会 6/5(オンライン)
- ・胆振管内教育長会議 4/11, 12/26
- ・令和5年度道南ブロック教育長研修会 7/6(白老町)
- ・令和5年度第2回公立高等学校配置計画地域別検討協議会 7/27(オンライン)
- ・北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会(室蘭市) 8/23

④入学式出席

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加を見合わせた。

⑤運動会参観

- ・幌別西小学校、青葉小学校 6/3
- ・幌別小学校、登別小学校、鷺別小学校、富岸小学校、若草小学校 6/10
- ・幌別東小学校 7/1

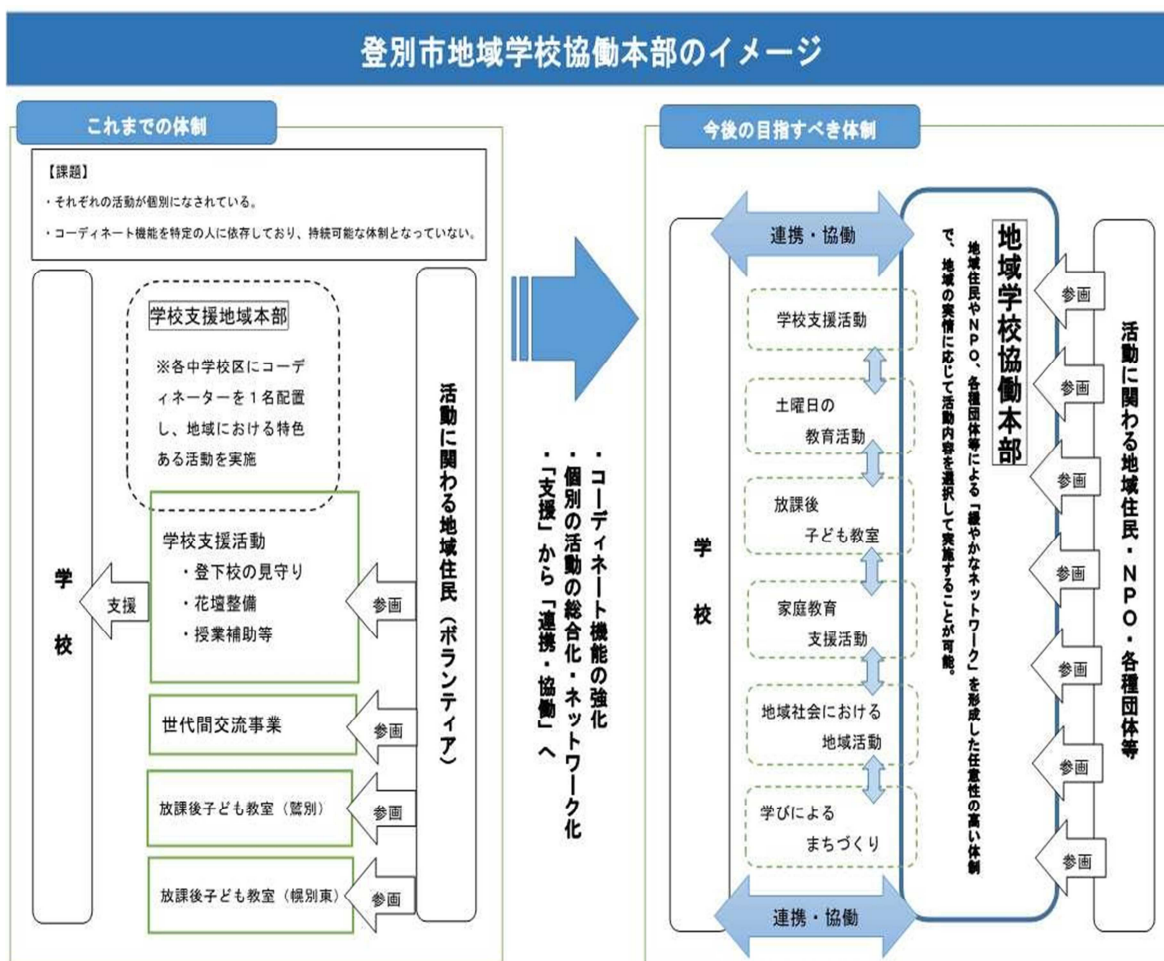
⑥卒業証書授与式出席

- ・西陵中学校 3/9
- ・幌別中学校、緑陽中学校、鷺別中学校 3/12
- ・青葉小学校 3/18
- ・幌別小学校、登別小学校、若草小学校、幌別西小学校、幌別東小学校 3/19
- ・鷺別小学校 3/21

2 重点施策の評価

項目	1 地域とともにある学校づくり
点検内容	<p>本市においては、近隣の自治体に先駆けて、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進してきた。</p> <p>令和5年度は、市内全小中学校に学校運営協議会を設置して10年の節目となるので、これまでの成果と課題を検証し、今後の方向性を明らかにする一年にするとともに、地域の皆様のお力添えをいただきながら、地域と学校の連携・協働体制の構築を推進し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく。</p>

取組状況



○学校コーディネーターの配置

【推進計画】令和元年度末までに5名 令和2年度末までに3名 令和3年度末までに5名（計13名）

→ 地域の実情に応じて段階的に整備し、令和5年度末で11校は配置済みとなっている。

○学校運営協議会の話し合いの内容

	月	日	主な議題（学校経営方針以外）	次年度の方向性
幌別中	5	17	本年度の教育活動について 生徒の様子	合同運営委員会を実施し小中連携体制の充実を図る。
	12	5	2学期の教育活動 前期学校評価分析 第2回いじめアンケート結果	
	2	16	【校区合同】3学期の教育活動 後期学校評価分析 意見交流	

幌別小	7	8	学力向上・基本的生活習慣・豊かな心の育成に関わる取組のあり方	学校統合委員会からの情報提供を受け、熟議を進める
	12	13	全国学力・学習状況調査結果分析 いじめ防止の取組	
	2	16	【校区合同】学校評価集計結果 学校関係者評価	
幌別東	6	5	閉校記念事業協賛会について	統合に向けて委員会設立の準備を進めていく
	12	2	全国学力・学習状況調査結果について 書面	
	2	16	【校区合同】学校評価結果の交流 閉校記念事業協賛会の進捗	
西陵中	5	16	【小中合同】生徒の生活や学習状況 いじめ・不登校の状況について	生徒の姿を見ていただき個別に懇談できる機会をもつ
	12	12	【小中合同】学校評価・全国学テ・いじめ調査結果 小中一貫教育	
	3	5	【小中合同】令和5年度を振り返って 学校評価結果(共通項目)	
幌西小	5	16	【小中合同】コミュニティスクールの活動 児童の様子について	小中連携事業への協力(CSとの一体化を目指して)
	12	12	【小中合同】学校評価・全国学テ・いじめ調査結果 小中一貫教育	
	3	5	【小中合同】令和5年度を振り返って 学校評価結果(共通項目)	
鷺別中	6	27	今年度の活動について 第1回地域いじめ防止対策委員会結果	小中一貫教育と学校運営協議会の一体化した取組推進
	11	30	授業参観の感想交流 学校支援についての意見交流	
	2	29	学校評価報告 小中一貫教育の取組 ピンクシャツデーの取組	
鷺別小	7	18	役員選出 学校運営の進捗状況	地域と家庭、学校が一体となった教育活動を進める
	12	14	授業参観 学校運営の進捗状況 学校経営の重点 学校評価の実施	
	2	22	授業参観 学校運営の進捗状況 学校経営の重点 学校関係者評価	
若草小	5	11	学校運営協議会の組織体制と活動内容 学校コーディネーター選出	町内会とPTAがさらに連携を深め子どもたちの健全な育成について一層の充実を図る
	7	13	全市一斉防災避難訓練 地域交流祭り 七夕の地域まわりについて	
	8	28	校区小中一貫教育 1学期の経営の反省 2学期の経営の重点 書面	
	12	15	2学期の経営の反省 3学期の経営の重点	
	3	8	学校評価結果 今年度の反省 次年度の教育活動	
登別中	7	4	登別中学校グランドデザイン 学校生活について	幼保小中の連携を深め望ましい生活学習習慣の確立
	12	14	【小中合同】メディア利用に伴う健康課題と改善に向けた取組	
	2	26	学校評価について 学校生活について	
登別小	6	29	学力向上プラン 働き方改革 いじめ防止基本方針	幼保小中との連携を深め望ましい生活・学習習慣のため、家庭と地域と一体の取組を推進
	9	27	前期学校評価 全国学力・学習状況調査結果	
	10	28	授業参観を踏まえた子どもたちの様子、学習活動の様子	
	12	14	【小中合同】メディア利用に伴う健康課題と改善に向けた取組	
	2	29	後期学校評価 全国体力・運動能力・運動習慣等調査・いじめ調査結果	
緑陽中	6	8	委員の確認・活動計画 いじめ・不登校の状況 今後の教育活動	関係団体との連携を深め、キャリア教育の充実を図る
	11	8	いじめ・不登校の状況 キャリア教育 今後の教育活動	
	2	29	今年度の教育活動 後期学校評価アンケートについて	
富岸小	5	22	教育活動について いじめ問題の取組 学校だよりの地域配布中止	地域の目、保護者の目で教育活動を支援する体制整備
	10	28	運営事項中間報告 学校運営協議会全体計画 学校評価委員の選出	
	3	14	学校評価について	
青葉小	5	18	役員を選出 学校経営の概要について	家庭と学校の情報等の共有を考える取組、働き方改革の推進
	7	1	授業参観 1学期の児童の様子 運動会・いじめ対応について	
	11	11	授業参観 2学期の児童の様子 学習発表会・全国学テ結果について	
	2	15	学校評価について 3学期の児童の様子	

○各校の土曜授業取組状況

	月	日	1校時	2校時	3校時	授業	行事	振替	備考
幌別中	4	15	授業	学級懇談会	学校説明会	1	0	夏季休業	全学級公開
	5	27	授業	1年田植え・2年環境学習・地域清掃 3年総合的な学習の時間		1	2	夏季休業	CS事業 ふれあい農園田植体験・環境学習・地域清掃 総合的な学習の時間
	9	9	避難訓練	避難訓練	避難訓練	0	3	冬季休業	全市一斉避難訓練
	10	28	授業	授業(全校道徳)	授業(全校道徳)	3	0	冬季休業	全校道徳※命を大切に教室
幌別小	4	22	授業	授業	校外班会議	2	1	夏季休業	
	7	8	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	3校時終了後、「児童引き渡し訓練」を実施
	9	9	授業	津波避難訓練	津波避難訓練	1	2	冬季休業	津波避難訓練(幌中・幌東小との合同開催予定) ⇒荒天により中止・通常の授業
幌東小	6	17	授業	避難訓練	避難訓練	3	0	夏季休業	スタディちゃんの家駆け込み訓練
	9	9	授業	避難訓練	避難訓練	1	2	夏季休業	CS事業 地域合同避難訓練(幌中と合同)
	10	28	学習発表会			3	0	冬季休業	ふれあいデー
	12	2	授業	「東っ子タイム」発表会		3	0	冬季休業	総合的な学習の時間・生活科の発表会・参観日一インフル エンザ蔓延防止のため1・2年生学年閉鎖。全校で参観日と 懇談会は中止。3年から6年、たんぽぽ1組、2組は授業で発 表会をしました。発表したものは動画で家庭に配信。
西陵中	7	8	①②③教科	①②③教科	道徳(全校)	3	0	夏季休業	3校時全校道徳(いじめ)
	9	9	①②③教科	①②③避難訓練	①②③避難訓練	3	0	夏季休業	(連町合同避難訓練)
	10	28	①②③教科	①②③教科	道徳	3	0	冬季休業	ふれあいDAY (地域一斉参観日)
	12	9	①②③教科	①②③教科	①②③教科	3	0	冬季休業	(オンライン授業・合格祈願大福の配布)
幌西小	7	8	授業	授業	授業	4	0	夏季休業	ケータイ・スマホ教室(4～6年)
	9	9	授業	津波避難訓練	津波避難訓練	1	2	夏季休業	全市一斉防災避難訓練
	10	28	授業	授業	授業	4	0	冬季休業	ふれあいDAY (地域一斉参観日) マンドリン演奏会(3年)
	12	9	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	和太鼓鑑賞(1・2年)
鶯別中	7	22	教科	教科	1・2年教科 3年総合(通務説明会)	3	0	夏季休業	チャレンジテスト、総合
	9	9	学校祭部門活動	学校祭部門活動	避難訓練	2	1	夏季休業	学校祭部門活動、避難訓練(津波)
	10	28	教科	教科	教科	3	0	冬季休業	ふれあいデー(地域参観日)、教科
	12	16	教科	教科	学活	3	0	冬季休業	教科、学活(冬休み計画作成)、新入生保護者説明会
鶯別小	4	22	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	保護者参観・PTA総会及び学級懇談
	7	22	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	スタディちゃんの家駆け込み訓練(3年)
	10	28	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	地域住民・保護者参観・ひなわしデー(地域公開参観日)
	1	20	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	保護者参観・道徳の日
若草小	7	22	授業	引き渡し訓練事前指導	引き渡し訓練	1	2	夏季休業	保護者と連携引き渡し訓練
	9	9	Meet練習	授業	授業	3		夏季休業	1校時は家庭でMeetによる接続練習を兼ねた授業を実施 2・3校時に地域との合同避難訓練を予定していたが雨天の ため中止し授業に振り替える
	10	28	授業	授業(公開)	授業(公開)(3～4校時)	4	0	冬季休業	ふれあいDAY
	12	9	標準学力検査(国語)	標準学力検査(算数)	授業	3	0	冬季休業	全学年標準学力検査
登別中	4	15	授業	授業	PTA総会	2	0	夏季休業	携帯スマホ安全教室・PTA総会・懇談会
	9	9	避難訓練	避難訓練	避難訓練	0	3	冬季休業	地域との合同避難訓練
	10	28	授業	授業 道徳	授業 道徳	3	0	冬季休業	生き方、人との関わり方、心のもち方を考える(職業、認知 症、薬物乱用防止)
	3	9	授業	授業	授業(熊舞引継式)	3	0	冬季休業	授業参観・熊舞引継式
登別小	4	22	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	PTA総会、学校運営説明会、学級懇談
	7	15	授業	行事1,2,3年OMB観 覧 行事4,5,6年OMB出 演	行事1,2,3年OMB観 覧 行事4,5,6年OMB出 演	1	2	夏季休業	わくわく広場(OMB参加4.5.6年 観覧1.2.3年)
	9	9	地域避難訓練参加	授業	授業	2	1	冬季休業	1校時地域避難訓練参加、2校時、3校時授業。 ただし、地域避難訓練に参加したものは、23校時はオンライ ン学習。学校に登校したもの(温泉地区等)は、学校で避難 訓練を行い、23校時に授業。
	10	28	授業(3-6年) スマホ安全教室(低)	スマホ安全教室(高) 授業(2-5年) 世代間交流(1年)	スマホ安全教室(中) 授業(2,5,6年) 世代間交流(1年)	3	0	冬季休業	ふれあいWEEK(地域参観日) 携帯スマホ安全教室 世代間交流(1年)

緑陽中	4	15	授業	SNS教室	PTA総会	2	1	夏季休業	2h:SNS教室 3h:PTA総会・学級懇談会
	9	9	授業	授業	避難訓練	2	1	冬季休業	小中一貫 地区避難訓練
	11	18	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	2年職業体験発表会
	12	16	授業	授業	授業	3	0	年度末休	
青葉小	5	13	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	引渡訓練
	7	1	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	学校運営協議会参観
	9	9	避難訓練(地震津波)	授業	授業	3	0	冬季休業	地域連携避難訓練(青葉地区連合町内会と)三校同時日
	11	11	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	「ふれあいデー」(地域公開、全学年) 参観日
富岸小	5	13	授業	授業	オンライン授業試行	4	0	夏季休業	4時間対応 クロム接続
	9	9	津波対策避難訓練	津波対策避難訓練	学級活動 お迎え下校	1	3	夏季休業	小中一貫・地域連携避難訓練 お迎え下校訓練
	10	28	授業	授業 メディアトラブル講座	授業 メディアトラブル講座	4	0	冬季休業	地域一斉参観日
	12	16	授業	授業	授業	4	0	冬季休業	学級閉鎖により土曜授業は2日から16日に延期

○ふれあいウィーク(10/22～11/5の2週間)

11/1「北海道教育の日」に合わせて、平成16年から「ふれあいデー」として市民に市内の小中学校を公開してきたが、その取組をさらに発展させ、平成23年からは「ふれあいウィーク」として、その時期に学校公開のほかには講演会や懇談会など各種事業の取組を進めている。学校や地域、保護者が、登別の教育のあり方について考えを深め合う期間として位置付ける。

- ・学校公開(保護者や地域の方、市民への公開) ※授業や活動内容は「土曜授業取組状況」を参照。
- ・中学校吹奏楽部定期演奏会 10/8 緑陽中 10/22 登別中 10/29 幌別中
- ・特別支援学級作品展 10/21～27 市民会館1F廊下

○鬼っ子フォーラム(11/1)

教職員や保護者、地域住民が登別の教育の在り方を考える「教育フォーラム(令和元年度まで隔年実施)」を開催していたが、令和3年度から市内小中学校・高等学校・中等教育学校の児童会・生徒会の代表が一堂に会し、いのちの重さや人としての生き方、人との関わりについて考えを深める「鬼っ子フォーラム」を開催することとした。

評価	<p>コミュニティ・スクールを導入し9年が経過した。年に3回程度、学校運営協議会を開催することができたものの、小中合同あるいは幼保小合同での開催を控える中学校区もあった。地域学校協働本部事業は、令和5年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、事業や活動の縮小・中止を余儀なくされた。</p> <p>各学校に一人配置する予定である学校コーディネーターの選出は、PTA役員経験者を中心に声掛けを行ったものの、令和5年度までの選出を完了することができなかった。様々な機会を捉えて、地域学校協働活動の目的やコーディネーター配置の趣旨を説明する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>本市においては、近隣の自治体に先駆けて、学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進する中で、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちを育ててきた。</p> <p>令和6年度は、「地域とつながる創意ある教育活動」を展開するために、学校運営協議会を活用した地学協働を推進するとともに、各小中学校の発想や工夫を活かして、体験的な学習を重視した「ふるさと登別」を知る様々な取組を充実させていく。</p> <p>一方、学校週5日制が導入され、市教育委員会が主導して10年間実施してきた「土曜授業」については、子どもたちや保護者の負担感、部活動の地域移行や教職員の働き方改革の推進など、学校を取り巻く環境が大きく変化している現状を考慮し、全市で統一した実施については見直していく。</p>

項目	2 確かな学力の向上 英語教育 学校図書館
点検内容	<p>確かな学力の向上については、本市の児童生徒の課題となっている算数・数学科の学習支援として、小学校4年生から6年生までを対象に、オンライン演習教材を導入し、学習内容の確実な定着と学力の底上げを図っていく。</p> <p>タブレット端末を活用した学びの充実については、北海道立教育研究所や登別市情報教育推進協議会と連携し、教職員研修を開催するとともに、ICTを積極的かつ効果的に活用した教育環境の整備に努めることにより、児童生徒の情報活用能力の育成に努めていく。</p> <p>英語教育については、外国語専科教員や外国語指導助手(ALT)を効果的に活用し、学校生活において日常的に英語に親しむ時間を充実させることにより、とりわけ児童生徒の「聞く・話す」能力の向上を図っていく。</p> <p>学校図書館については、各学校へ学校司書を配置し、授業支援や読書支援の一層の充実を図るほか、児童生徒が気軽に立ち寄ることができる場所として、学校図書館の環境改善を進めていく。</p>

取組状況

○全国学力・学習状況調査（対象：市内小6年生・中3年生）

【調査の概要】

本調査は、義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力・学習状況を把握し、教育施策の成果と課題の検証により改善を図るとともに、学校での児童生徒への学習指導の充実や改善等に役立てること、加えて教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を目的として、全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施されてきた。

昨年度は、小学校では国語と算数の2教科、中学校では国語・数学・英語の3教科に関する調査と、生活習慣や学習習慣等についての質問紙調査が行われ、登別市では、小学校292名、中学校296名が参加した。

【教科に関する調査】

- ・小学校では、国語で全道の平均正答率をやや上回り、全国と同等である。算数で全道の平均正答率とほぼ同等で、全国と比べるとやや下回っている。
- ・中学校では、国語、数学、英語の3教科とも全道及び全国の平均正答率を下回っている。
- ・無解答率については、小学校で、2教科とも全道及び全国と比べて記述式の設定における無回答率が低い。中学校で、3教科とも全道及び全国と比べて低い設問もあるが、特に記述式の設定における無回答率が高い。
- ・以下、教科毎の概要

[国語]

- ・小学校では、送り仮名に注意して文中で漢字を使うこと、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することはよくできている。原因と結果など情報と情報の関係について理解することに課題がある。
- ・中学校では、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することはできている。自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことや文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして書くことに課題がある。

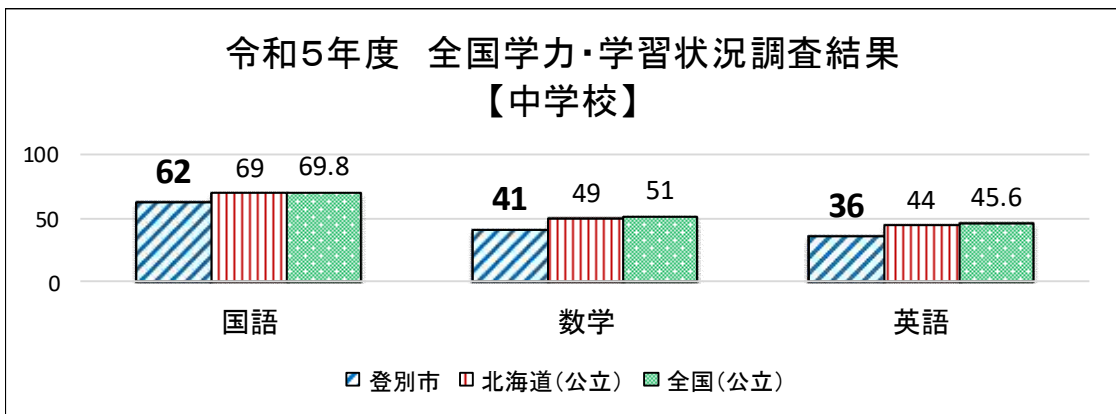
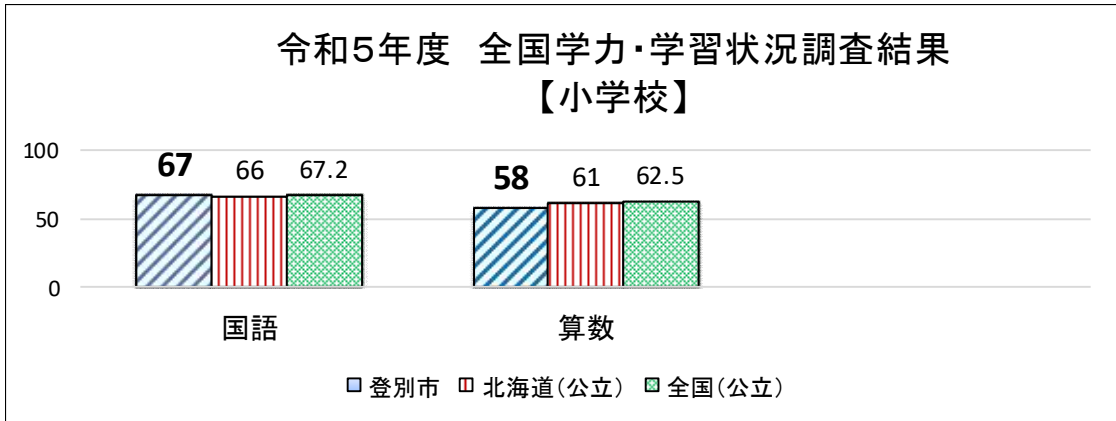
[算数・数学]

- ・小学校では、伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中で知りたい数を求めることができている。百分率で表された割合について理解することに課題がある。
- ・中学校では、反比例の意味を理解することはある程度できている。目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することや結論が成り立つための前提を、問題解

決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することに課題がある。

[英語]

- ・どの領域も全般的に課題があるが、日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることは一定程度できている。「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことや未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことに課題がある。



【児童・生徒質問紙調査】

[自分について]

- ・「人が困っているときは、進んで助ける」、「いじめは、どんな理由があってもいけない」と回答した小中学生の割合が、全国と比べて高い。

[地域や人との関わりについて]

- ・「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う」と回答した小中学生の割合が、全国の割合と比べて高い。

[家庭生活について]

- ・「毎日、同じくらいの時刻に起きている」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答した小中学生の割合が、全国の割合と比べて高い。

[家庭学習について]

- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強している」と回答した小中学生の割合が、全国の割合と比べて高い。

[学校での学習について]

- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれ

ていると思う」と回答した小中学生の割合が、全国の割合と比べて高い。

- ・「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動をしている」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる」と回答した小学生の割合が、全国の割合と比べて高い。

[ICT機器の活用について]

- ・「学習の中でICTは学習の役に立つと思う」、「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上ICT機器を、勉強のために使っている」と回答した小中学生の割合は、全国の割合と比べて高い。

○各学校の取組に対する支援

①教育課程課題検討委員会

参加者：校長会研修担当、全小中学校教頭、教務主任、学力向上・研修担当等の教諭

第1回～令和5年7月24日（月）

第2回～令和5年12月19日（火）

全国学力・学習状況調査の自己採点結果から子どもの状況や課題を校種間で共有するとともに、「学習内容の定着」に向けた取組を推進し、学力向上に結び付けることを目的に実施

②登別市学力向上プランの作成

市内13校の全国学力・学習状況調査自己採点結果から考えられた課題や授業改善のポイント等をまとめ、市内小中学校に周知（令和5年6月15日）

③学習支援専門員の配置と学校支援

- ・配置 教育指導室に学習指導員2名を配置。

・取組

4月 全国学力・学習状況調査の実施に向けた「心構え」と「鬼っ子チャレンジテストはじまり号・復習問題（算数）」の作成、及び、各小学校への配布

鬼っ子算数教室用教材「鬼っ子チャレンジテスト」（4～6年生）の改善

「鬼っ子算数教室」実施に向けた準備（各校の年間実施予定の調整及び年間指導計画の策定
指導者用解答の印刷及びファイル詰め、児童用問題の印刷及び封筒詰め、教室掲示用の作成）

鬼っ子チャレンジテスト（1学期分）作成と教育委員会ホームページへの掲載

5～7月 「鬼っ子算数教室」の実施（幌別東小以外の7小学校）

「鬼っ子算数教室」の実施に向けた準備（指導者用解答の印刷及びファイル詰め、児童用問題の印刷及び封筒詰め、教室掲示用の作成）

鬼っ子チャレンジテスト（2学期分）作成と教育委員会ホームページへの掲載

8～12月 「鬼っ子算数教室」の実施に向けた準備（指導者用解答の印刷及びファイル詰め、

児童用問題の印刷及び封筒詰め、教室掲示用の作成）

「鬼っ子算数教室」の実施（幌別東小以外の7小学校）

全国学力・学習状況調査結果（算数）の分析及びチャレンジ問題への反映及び

令和5年度用「鬼っ子チャレンジテスト」の問題・解答作成

全国学力・学習状況調査（算数）の調査結果をもとに、算数科指導資料「弱点を克服！」を作成し、PDFファイルで教育委員会ホームページへ掲載

鬼っ子チャレンジテスト（3学期分）作成と教育委員会ホームページへの掲載

1～3月 「鬼っ子算数教室」の実施に向けた準備（指導者用解答の印刷及びファイル詰め、児童用問題の印刷及び封筒詰め、教室掲示用の作成）

「鬼っ子算数教室」の実施（幌別東小以外の7小学校）

令和5年度「鬼っ子算数教室」成果と課題作成、報告

登別市児童の課題を踏まえた、次年度に向けた学習教材の改善等
 令和6年度「全国学力・学習状況調査」実施に向けた「鬼っ子チャレンジテストはじまり号」の作成

○小学校放課後学習実施状況

熱中症警戒アラート発令、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ感染拡大等により、鷺別小学校1回、富岸小学校1回、若草小学校2回、幌別小学校2回が中止となった。

富岸小学校 予定10回 → 実施9回 若草小学校 予定12回 → 実施10回
 幌別小学校 予定12回 → 実施10回 幌別西小学校 予定10回 → 実施10回
 鷺別小学校 予定10回 → 実施9回 青葉小学校 予定10回 → 実施10回
 登別小学校 予定10回 → 実施10回

- ◆ 登録指導者数 67名
- ◆ 参加指導者数（延べ人数） 405名
- ◆ 登録児童数 第4学年 30名 第5学年 59名 第6学年 54名
- ◆ 参加児童数（延べ人数） 第4学年265名 第5学年501名 第6学年437名

(1) 登録児童生徒数・経年比較

学校名	若草小			登別小		富岸小		幌別小		鷺別小			青葉小		幌別西小		
	4	5	6	5	6	5	6	5	6	4	5	6		6	4	5	6
H26	-	23	16	16	23	24	21	22	11	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	-	19	17	25	18	22	38	20	25	-	-	-	-	-	14	9	10
H28	-	22	11	11	20	16	23	26	15	-	26	35	24	9	13	11	5
H29	-	11	8	23	14	43	11	16	9	-	27	28	27	30	14	6	8
H30	16	10	4	18	13	32	19	9	11	-	16	16	23	29	12	13	6
R元	15	14	6	25	13	40	61	17	8	-	17	12	22	26	14	10	7
R2	7	5	13	-	-	19	24	7	10	-	9	13	17	14	6	10	4
R3	11	5	3	6	12	15	18	16	4	-	10	8	19	19	16	5	7
R4	11	9	4	5	16	12	12	9	9	-	5	7	6	11	6	12	3
R5	12	8	7	6	7	10	10	15	8	14	7	4	7	6	4	6	12

(2) 実施の形態

- ・幌別東小学校は、校区住民が「幌別東小学校放課後子ども教室」を運営しており、その場へ学習問題を提供するのみとなっている。
- ・若草小学校、鷺別小学校、幌別西小学校の3校は4～6年生の希望者、富岸小学校、青葉小学校、幌別小学校、登別小学校の4校は5～6年生の希望者が参加している。
- ・各校年間10～12回の実施を計画している。令和5年度中止となった回数は6回である。
- ・算数教室が中止となった場合は、予定した学習問題を学校から対象児童へ渡し、家庭学習等で取り組むこととした。若干名ではあるが、家庭学習として取り組み、後日学習指導員に提出した児童が見られた。
- ・算数教室実施に当たっては、学校管理職及びコーディネーターの協力をいただきながら、会場の準備や後片付け等を円滑に行うことができた。
- ・算数教室は、各校指導ボランティアの方々の協力体制が強みであり、ボランティアの方々は、笑顔を交えながら懇切丁寧に指導し、児童とのコミュニケーションを図っている。このことが、地域住民が

学校の様子を知る一助となっている。

- ・算数教室実施時は、各校とも基本的に職員会議や研修等を行っているが、合間を見て、学級担任や管理職が学習の様子を参観することもある。

(3) 成果と課題

【成果】

- ・算数教室における学習内容は、既習事項の復習であり、指導者のアドバイスや児童間での学び合いにより、既習内容の定着を図ることができた。
- ・算数教室における指導形態は、定着度に応じた個別指導が中心であり、理解に時間を要する児童に対しては、指導者による1対1のきめ細かな指導を行い、学習内容の定着を図っている。
- ・算数教室で使用している「鬼っ子チャレンジテスト」は、毎年見直しを図り、児童が算数的な思考、判断、表現を駆使する問題を取り入れている。算数教室での個別指導の際には、問題を解決するための考え方を述べさせ、思考過程を意識させるようにしている。
- ・算数教室は、児童が校区に住む方々とふれ合う貴重な機会の1つと考えられる。学習に関することはもちろん、終了後には学習以外のことで対話している様子も見られ、微笑ましい光景である。
- ・算数科の指導や児童との対話を通して、指導ボランティアの皆さんが学校教育の一端を知る機会となっている。児童とのふれ合いを楽しみにしながら、ご協力いただいている方々が多い。

【課題】

- ・同一校においても、学年によって参加児童数に大きなばらつきが見られる。児童の他の習い事との重複だったり、担任による児童に対する働きかけの違いだったりすると考えられるが、鬼っ子チャレンジテストの有効活用を図るためにも、各校にはより積極的な児童への勧誘をお願いしていく。
- ・各学期の鬼っ子チャレンジテストは、登別市教育委員会のホームページに掲載しているので、長期休業中におけるの家庭学習の一環として有効活用が図られるよう、各校に働きかけていく。
- ・鬼っ子チャレンジテストについては、全国学力・学習状況調査結果に基づき、本市児童の算数科における課題解決の一助となるよう、より一層精選しながら作成する必要がある。
- ・算数教室の回を重ねるごとに、雰囲気への慣れが生じ、徐々に学習意欲が低下し、指導ボランティアの方に失礼な振る舞いをしてしまう児童が、各校で数名程度見られる。学習指導員として、個々の学力に応じた学習問題の提示方法や取り組みせ方に留意する必要があると感じている。また、各校に対しては、算数教室実施のねらい等について、児童へ十分な説明をお願いしたい。

○各学校の朝読書と図書ボランティアなどの活動状況

学校名	朝読書	図書ボランティア	その他
幌別小	毎朝10分	貸出返却・AL T読み聞かせ 図書館掲示・装飾	図書委員の読み聞かせ おはなしぼけつとによる読み聞かせ
幌西小	月水金10分	読み聞かせ・環境整備・貸出返却	図書だよりの発行 読書通帳
鷺別小	月～水20分	環境整備・新刊紹介・図書館内イベント準備 景品の作成、装飾の作成	図書委員によるイベント開催 ・クイズラリー ・しおりコンテスト ・スタンプラリー 読書啓発活動 お話しぼんによる読み聞かせ
登別小	火木15分	読み聞かせ(状況に応じて、年複数回実施)	図書館の環境整備
富岸小	火曜10分	月2回程度、朝の読み聞かせ(6月から実施)	図書館環境整備

幌東小	毎朝10分	読み聞かせ（3回）・図書室環境整備・しおりのプレゼント	目標設定・読書ノート・文化委員による読み聞かせ
若草小	火・木10分	読み聞かせ・環境整備・イベント準備 P T A図書スタッフによる読み聞かせ (年間5回)	図書委員会によるイベント ・クイズラリー ・おすすめの本コンテスト
青葉小	木曜10分	飾付・環境整備、朝の読み聞かせ	図書ボランティアの読み聞かせ
幌別中	毎朝10分	週2回程度、貸出返却・環境整備 新刊紹介・テーマコーナー・学級文庫入れ替え	委員会補助
鷺別中	毎朝10分	新刊紹介・テーマコーナー・学級文庫入れ替え (週1～2回 図書館司書対応) 3/7 3年生図書パネルシアター	図書館環境整備、新刊の紹介 図書委員会による学級文庫の入れ替え 図書ボランティアの読み聞かせ
登別中	毎朝10分	活動なし	図書委員会による運営 図書委員会主催ビブリオバトル実施 学級文庫入れ替え
西陵中	毎朝10分	活動なし 文化専門委員による昼の放送を使って読み聞かせ（計18回 各学年ごとに文化専門委員が実施）（図書館司書対応）	学級文庫入れ替え 図書館内イベント開催 ・読書スタンプラリーでガチャしよう（6月） ・「道民の日」（7月）北海道みんなの日にちなんで特設コーナーを設置 ・「胆振防災教育デー」 ・本を読んで消しゴム釣りをしよう（12月） ・本を借りて写真を撮ろう(2月)
緑陽中	実施せず	図書委員による環境整備・読書啓発	図書委員による新刊の紹介

○学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議

1 日 時 6月30日（金）

2 内 容 「第4次登別市子供読書活動推進計画」の策定にあたり、各学校の読書活動や図書室運営に関する取組について3つのグループに分かれて情報交流を行う。

○登別市学校司書連絡会議～年6回実施（①5/16 ②7/3 ③9/1 ④11/17 ⑤1/30 ⑥3/15）

1 ねらい 市内小学校に配置されている学校司書の連携を図り、互いの知識を共有することにより、さらに有効な学校図書館整備の充実を図る。

2 内 容 活動内容の交流・図書館だよりなどの意見交換・本の整理や選書に関する情報交換・読み聞かせに関する情報交換 その他

○長期休業中の学校図書館の開放～（小学校及び司書の配置がある中学校）

読書活動推進の一環で、休業中の日時を設定し児童生徒に対し学校司書による貸出業務等を行った。

<利用状況>夏休み 夏休み 119名 貸出冊数 168冊

冬休み 冬休み 126名 貸出冊数 149冊

○小学校への団体貸出

21 学級 504 冊（「小学校の特別支援学級への貸出」と「2023年度調べ学習一覧」の2つの合計）

○幼稚園・保育所の年長児による感想画展

令和4年度より小学校の感想画コンクールは廃止。令和5年度から幼稚園・保育所の年長児が実施した。応募件数 225作品。

○小・中学生の読書感想文感想文コンクール

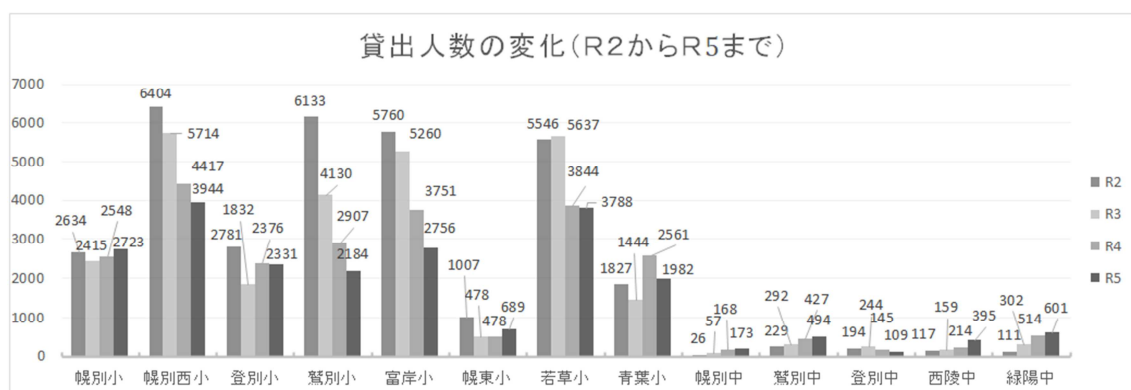
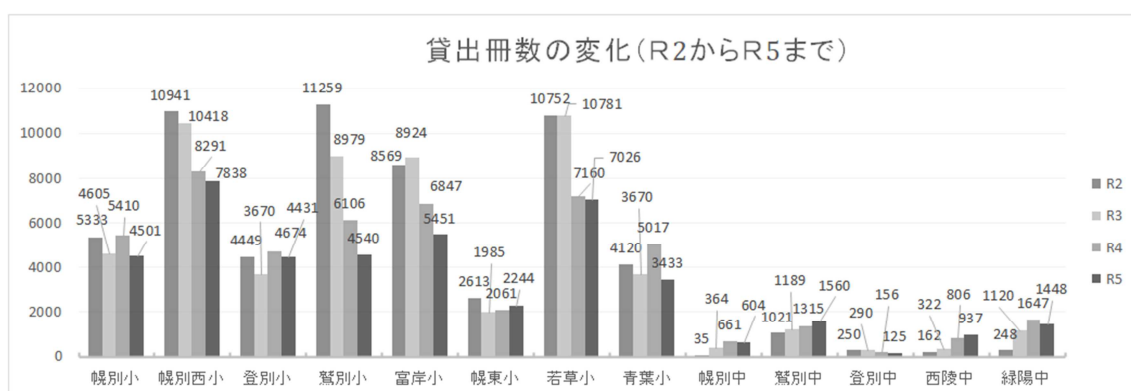
読書感想文コンクールの応募点数を令和5年から小学校も中学校に合わせ、1学級あたり3点以内とした。応募件数 124作品（入選 27作品）。

○学校図書館担当職員（学校司書）の配置

図書館司書等の有資格者を段階的に2校に1人の割合で配置した。

- ・H25～H26年度 2人を4校に配置（幌別西小、青葉小、鷺別小、若草小）
- ・H27年度以降 4人を8校に配置（上記に加え、登別小、幌別東小、幌別小、富岸小）
- ・R3～R4年度 モデル事業として中学校に司書を1名配置（緑陽中・西陵中兼務）
- ・R5年度 市内で司書を6名配置。（1人で2校担当し、登別中以外配置）

○貸出冊数と貸出人数の変化（R2からR5まで）



英語教育の取組状況

- ・「登別市小中学校英語教育推進プログラム」の内容を基に、小学校では新学習指導要領の全面实施を見据えて取り組んだ北海道教育委員会の小学校外国語活動巡回指導教員研修事業の成果を踏まえ、教員個々が努力を重ねて継続して授業実践に取り組み、授業力を高めることができた。
中学校においても、円滑な学校間接続の観点から、中学校の外国語科教員の系統的指導に対する意識化が図られるとともに、従前より本市で取り組む小中一貫教育の機能を最大限活用し、専門性を発揮した授業が行われ、義務教育9年間を見通した英語教育が一体的に展開された。特に英語専科を活用した外国語活動や外国語が効果的に行われている。
- ・小学校1・2年では、年間10時間程度外国語活動として実施する予定になっている。

<参考：ALTの小中学校年間派遣実績>

- ・小学校への年間派遣回数～490回（昨年度449回）
- ・中学校への年間派遣回数～263回（昨年度248回）

<p>評価</p>	<p>全国学力・学習状況調査において、小学校は、国語が全国の平均正答率と同等であり、算数で全国の平均正答率をやや下回った。中学校は、国語・数学・英語とも全国の平均正答率を全国の平均正答率を下回った。</p> <p>児童生徒質問紙調査結果から、「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、わかるまで教えてくれる」と肯定的な回答をした小中学生の割合は、全国の割合と比べて高いので、引き続き個に応じた丁寧な指導を続けていくことが大切である。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>確かな学力については、タブレット端末を効果的に活用し、子ども一人ひとりの特性や学習進度、興味・関心等を踏まえた指導方法や指導体制の工夫・改善を進めていく。</p> <p>また、子ども同士や多様な他者との対話を通じた学び合い活動をタブレット端末を活用することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていく。</p> <p>さらに、平常時における家庭へのタブレット端末の持ち帰りを推進し、学校での学習と家庭での学習の円滑や接続を図っていく。</p> <p>特に、「全国学力・学習状況調査」の結果から本市の児童生徒の課題となっている「算数・数学」の学習支援として、小学4年生から6年生までを対象に導入している算数学習アプリを学校や家庭学習、鬼っ子算数教室で活用し、学習内容の確実な定着と学力の底上げを図る。また、よりよい機能を持つ学習用アプリが新たに開発されているため、どのようなものが子どもの学習内容の定着に適しているのか調査・研究を進めていく。</p> <p>英語教育については、小学5年生から中学3年生を対象に「英語」のデジタル教科書を導入したことから、従来の授業とICTの活用を組み合わせ、「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげていく。</p> <p>また、通常の授業はもちろん、夏休みや冬休みにおいても、児童生徒が1年を通してALTとコミュニケーションをとる機会を設けることにより、日常より英語に親しむような環境づくりを進め、「聞く・話す」活動を充実させていく</p>

<p>項目</p>	<p>3 教職員の指導力の向上 働き方改革（ICTの活用を含む）</p>
<p>点検内容</p>	<p>教員の指導力の向上については、引き続き登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援するとともに、研究成果の還元を工夫・充実していく。また、道教委や各種団体が主催する研修等を積極的に活用し、指導力の一層の向上に努める。</p> <p>登別市教育委員会デジタルフェローの知見を積極的に活用し、教員のニーズに応じた研修を充実させることにより、ICTを活用した指導力の向上を図り、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に努める。</p> <p>また、デジタル教科書の本格導入に向けては、引き続き国が進める「学びの保証・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」に参加するとともに、指導者用デジタル教科書などを整備しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていく。</p> <p>さらに、道教委の指定を受けた「学校力向上に関する総合実践事業」における成果を生かしながら、学校の働き方改革を一層推進し、児童生徒に対して効果的で質の高い教育活動が持続的に行われるよう、努める。</p>

取組状況

○登別市教育実践研究奨励校

学校名	領域・教科	研究主題	年度
富岸小	学習指導	『読みの力を身に付け、豊かに表現する子の育成』 ～「言葉による見方・考え方」を働かせる言語活動の充実を通して～	4・5
幌別西小	学習指導	西小プラスONE ～確かな学力を身に付けさせる授業を目指して～	4・5
鷺別中	学習指導	「学び合い」を通して、自ら物事を捉え、思考していける生徒の育成 ～各教科における主体的・対話的で深い学びを通して～	4・5
緑陽中	学習指導	見方・考え方を働かせ、自分の考えを深め、表現する生徒の育成 ～読解力・思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫を通して～	4・5
幌別小	学習指導	考えを表現し、よりよい学びにつなげる子の育成 ～個の学びが充実する算数科の授業の在り方～	5・6
若草小	学習指導	「教えて考えさせる算数科の指導法の工夫」 ～みんなが「わかる」「できる」楽しさを実感できる授業を目指して～	5・6
幌別中	学習指導	ICTを活用した主体的な学びの実現を目指して ～生徒・教師が学習を通じた変容を共有できる授業・評価改善～	5・6
西陵中	学習指導	「主体的に学びに向かい、自己の力を高める生徒の育成」 ～学びを実感させる学習過程の工夫と、自立した学習習慣の定着を通して～	5・6

○学校力向上に関する総合実践事業（中核校：幌別小、指定校：幌別東小、幌別中）

実施報告書(概要)：市教委

	具体的な取組	実施状況
① 指定地域への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○教科担任制の充実に向けた取組 ・中核校及び指定校による授業公開や実践発表 ○共同学校事務室設置推進についての取組 ・加配事務職員に係る「業務改善の取組」「校務運営参画の取組」の実践発表 ○地域協議会での取組 ・ICT活用状況の交流 ・理科専科教員による授業公開及び研究協議 ・中核校学校公開（授業公開及び研究協議） ・本事業の取組検証 	<ul style="list-style-type: none"> ○11月28日（火）の第2回事務職員情報交流会及び2月8日（木）の第4回登別市地域協議会において、加配事務職員による実践発表を実施した。 ○12月8日（金）の幌別小学校学校公開兼第3回登別市地域協議会において、1年生と5年生の授業公開を実施した。また、幌別小学校より学級担任間の授業交換について実践発表を行った。 ○登別市マネジメントプランに基づき、年4回の登別市地域協議会を実施した。また、2月8日（木）の第4回地域協議会では、北海道教育庁教職員局教育支援課主幹兼渡島教育局主幹を招き、「働き方改革の推進について」講演会を実施
② 指定地域の取組成果の普及	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校の改善状況や成果等の把握、検証方法 ・「登別市学校力向上マネジメントプラン」に基づいた実践 ・理科専科教員の実践研究を踏まえた成果資料の作成 ・中核校及び指定校による学校公開（授業公開・実践発表・研究協議） ○成果普及の方策 ・中核校及び指定校による学校公開や実践発表による成果普及 ・成果資料等のデータベース化 ・ミッション事務加配職員による取組の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○実践事項について、各校からのアンケート結果を集約し、取組の検証結果を公表した。 ○評価指標については、肯定的な回答の割合が17項目中16項目で目標を上回った。 ○9月27日（水）の登別市教育研究会理科部会兼第2回登別市地域協議会において、理科専科加配教員による授業公開と研究協議を実施した。併せて、ICTを活用した授業実践発表と登別市教育研究会理科部会への情報共有を実施した。 ○2月8日（木）に第4回登別市地域協議会にて、加配事務職員による実践発表と経営参画による働き方改革の実践を紹介した。

実施報告書（概要）中核校：幌別小

○加配教員及び事務職員を活用した取組

<p>加配教員の活用方法</p> <p>○教科担任制の充実を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施2校での授業ルールやスタイルの共有・視覚化（専科指導教員と2校教頭による確認） ・専科指導教員と中学校理科担当教員による授業交流・情報交換を活性化（小中連携との関連） ・専科教員が授業を行っている時間を活用した学級担任間の授業交換の推進 <p>○タブレット端末を活用した授業改善に向けた教科担任の役割や活用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に視覚的・聴覚的な情報を伝えるための画像や動画の専門的な知識を生かした精選 ・実施2校分の教材準備を共有・加工・再利用等することによる効率化
<p>加配事務職員の活用方法（配置校：幌別小学校）</p> <p>○学校事務の共同実施による学校間連携に向けた加配事務職員の役割や活用方法（加配事務職員配置地域のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加配事務職員の視点からの業務改善の提案と実践（校務支援システムの積極的な活用の推進、会議資料や周知文章のペーパーレス化の促進、メール配信の利便性の向上、ホームページの充実等） ・加配事務職員の校務運営参画機会の拡充（ICTを活用した授業における機器操作等のサポート、学年・学級事務の担任の負担軽減）

○地域全体の学校が共通して取り組む事業内容

(1) ICT を活用した教育の充実

実施計画書		実施報告書
具体的な取組	到達目標 (検証方法)	①到達目標に対する成果・課題 ②成果について、校長として工夫した点
<p>タブレット端末を活用した授業改善</p> <p>○個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けたタブレット端末の授業における効果的な活用についての研修の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修 ・ICT委員会 ・ミニ研修 ・DXフェローによる研修 	<p>・学校評価（内部評価）「ICT活用授業を実践することができたか。」の肯定的評価の回答85%以上</p>	<p>①M加配事務が講師となったICT研修やH-ICT委員会によるタブレット研修、グーグル社によるタブレット端末操作スキルアップ研修などの研修を設定し、効果的な活用について研修を深めた。</p> <p>②校内のICT化の推進にあたり加配事務も担当チームの構成員とした。市教委や校内の連絡調整はもとより、教員のニーズを束ねながら、機器の活用促進と環境形成の先導役となって、業務を進められるように役割と仕組みを整え周知した。</p> <p>※ICT活用授業の実践に関する学校評価（内部評価）の肯定的回答100%</p>
<p>タブレット端末の目的的な活用による学びの充実</p> <p>○授業以外（持ち帰りや業間等）におけるタブレット端末の活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別活動（児童会活動やクラブ活動における活用） ・学級活動 ・休み時間等の業間の活用の検討 ・家庭での活用の検討 	<p>・学校評価（内部評価）「各委員会活動は、児童の創意や日常の学習成果を生かし、学校生活の充実、諸問題の解決に向けた活動になっていたか。」の肯定的評価の回答85%以上</p>	<p>①委員会活動における「委員会だより」の作成、宿泊学習や修学旅行の「しおりづくり」の協働作業、学習発表会の取組スケジュールの確認など、授業以外の場面においても、タブレット端末を活用した。</p> <p>②ICT校内委員会（H-ict委員会）を組織し、教職員が主体的にICT機器の効果的な活用を推進できる環境を整えた。また全教職員のICT活用を促した。</p> <p>※委員会活動の実践に関する学校評価（内部評価）の肯定的回答100%</p>
<p>上 教員のICT活用指導力等の向上</p> <p>○校内委員会（H-ict委員会）による学校のICT化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修 ・ミニ研修 ・先進校の事例研修 	<p>・学校評価（内部評価）「学年研修や初任者研修、校内外の様々な研修は、教員の資質向上のために効果的であったか。」の肯定的回答85%以上</p>	<p>①秋田県男鹿市において研修した先進的事例や市内における実践発表など、研修してきたことが職員に還流され、日々の実践に生かされた。</p> <p>②ICT校内委員会（H-ICT委員会）を組織し、教職員が主体的にICT機器の効果的な活用を推進できる環境を整えた。また全教職員のICT活用を促した。</p> <p>※効果的な研修に関する学校評価（内部評価）の肯定的回答100%</p>

(2) 「北海道アクション・プラン（第2期）」を踏まえた働き方改革の実施

実施計画書		実施報告書
具体的な取		①到達目標に対する成果・課題 ②成果について、校長として工夫した点
改革プロセスの明確化	<p>○教職員が自ら考え取り組みながら業務の軽減や平準化、効率化を目指すプロセスの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順を整える（学年主任会による改革推進） ・行動を起こす（改革の成果として、全職員とデータを整理・共有することで改革の進捗を実感させ、次のステップへつなぐ。） ・定着させる（新たな行動様式に置き換わるまで、新しいやり方を確実に定着させるために、終会等を通して周知・指導を行う。） 	<p>・学校評価（内部評価）「教職員がそれぞれの立場で経営参画意識をもつ」の肯定的回答を85%以上</p> <p>①学年主任会において改革推進に向け、ゼロベース・ボトムアップを念頭に置き、教職員の経営参画意識を高め、教育の質の向上を目指した。</p> <p>②「働きやすさ」や「働きがい」の創出を一体的に取り組むために、会議の削減・廃止、行事・活動の整理、事務の簡略化など、物理的な量を軽減し、時間を生み出す改善を行った。</p> <p>※経営参画意識に関する学校評価（内部評価）の肯定的回答82.4%</p>
組織体制の構築	<p>○事務職員を含んだ働き方改革を、学年主任会を中心に推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年主任会における定期的な検証 	<p>・学校評価（内部評価）「学校力向上に向けて、チーム力を生かす」の肯定的回答を85%以上</p> <p>①教員業務支援員や学習指導員、学習支援員を活用による外部化や事務職員の校務運営への参画機会の拡大をすることで、「チーム力を生かす」ことを実現した。</p> <p>②各分掌や職員の気付きを働き方改革につなげることを奨励した。ゼロベース・ボトムアップを念頭に置き、教育の質の向上を目指した。</p> <p>※チーム力を生かすに関する学校評価（内部評価）の肯定的回答94.2%</p>
業務の効率化に向けた取組の充実	<p>○校務支援システムを活用した業務改善の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出退勤の記録による在校時間等の客観的な把握 ・出席簿による登校状況の把握等学級事務の効率化 ・成績処理に関する機能を活用しての処理の効率化 <p>○部活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動について、学期中は、週当たり2日以上の休養日を設定する。（平日1日以上、土曜日及び日曜日についても1日以上）また、年間の休養日を104日以上設定する。 ・「地域部活動の実施」について、特に土・日の部活動は、サッカー・野球・バレーボール・合唱の活動を地域指導者が主体となった指導体制に移行できるよう検討する。 	<p>・学校評価（内部評価）「業務改善を意識した働き方を心掛けることができたか。」の肯定的回答を85%以上</p> <p>①校務支援システムを活用した客観的な在校時間等の把握や成績や出席簿の処理など学級事務の効率化を行った。</p> <p>②事務職員の視点から、業務の改善点を具申させ、実現に向けてサポートする体制を構築してきた。</p> <p>※業務改善を意識した働き方に関する学校評価（内部評価）の肯定的回答76.5%</p> <p>○部活動の指導時間をガイドラインに従い、平日2時間、休日3時間を順守するように指導し、指導時間の削減を行った。</p> <p>・部活動年間計画を作成し、休養日については適宜点検する。</p>

○働き方改革の推進

- ・「登別市立学校における働き方改革基本方針(平成30年10月策定・令和2年3月改定)」に基づき、教員が本来担うべき業務に専念できる環境の整備に努める。

【基本方針の目標】

教育職員の在校等時間から所定の勤務時間等を減じた時間(いわゆる「時間外勤務」)を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とする。

【目指す指標】

- 1 部活動休養日(平日週1日・休日週1日・学校閉庁日の年間合計=113日)を完全に実施している。
- 2 変形労働時間制を活用している。
- 3 定時退勤日を月2回以上実施している。
- 4 学校閉庁日を年9日以上実施している。 ※以上4指標は、令和元年度中に達成している。

【主な具体的取組】 令和元年度以降に検討または実施したもの(以前から実施済みの取組は除く)

- 1 教職員の事務負担を軽減する校務支援システムを導入(令和3年度末に試行、4年度から導入開始)。
- 2 給食費については、給食費管理システムを導入(令和3年度から導入開始)
- 3 部活動指導員を配置する(令和5年度は3名配置)。
 - 幌別中バレーボール部1名
 - 緑陽中バスケットボール部1名・ソフトテニス部1名
- 4 在校時間を客観的に計測するシステムを導入する(平成31年4月から記録を開始)。
- 5 留守番電話の設定(平成31年4月から対応を開始)

ICT活用の取組状況

○登別市情報教育推進協議会

- ・回数：6月に各校の状況を集約するとともに、オンライン（Google Meet）で実施。
- ・主な内容：各校における端末活用や各種取組状況の共有
課題の明確化及び整理、課題解決に向けた取組の検証
教育委員会からの情報提供

○令和5年度登別市教職員研修会（北海道立教育研究所「教育関係機関等連携」研修講座）

- ・日 時：令和5年12月26日
- ・会 場：登別中学校
- ・参加者：市内小中学校教職員21名
- ・内 容：数学科の授業におけるタブレット端末の効果的な活用に係る実践発表と道内における好事例の紹介

○のぼりべつICT情報交流（揭示版）

GoogleClassroomの機能を活用し、市教育指導専門員が運営し、定期的な更新を図る。主に各校の端末活用や授業の実際、国や道の最新動向、端末機能及び活用の実際、研修資料等を掲載。

○登別市Google研修チーム（Google講師）を活用した校内研修（オンラインで実施）

- ・419（校長向け）、5/10（教頭、事務職向け）～各校での研修に先駆けて管理職向け研修を実施。
- ・8/21 1/17 幌別小、5/24 7/5 幌別西小、6/21 11/15 鷺別小、5/22 登別小、6/22 富岸小、7/20 8/17 幌別東小、4/12 6/2 若草小、6/20 12/19 青葉小、7/18 12/18 幌別中、4/28 8/18 鷺別中、4/12 4/26 登別中、5/24 11/14 西陵中、5/23 緑陽中

評 価	<p>登別市教育実践研究奨励校については、8校が指定を受け、各校の研究の経緯や実態に即した研究主題のもと、全校が学習指導をテーマに取り組んだ。研究紀要の作成・配付により研究の成果を発信するなど、研究の質を高めることができたとともに、タブレット端末が導入され4年目となり、各校が「ICTを活用した主体的な学びの実現」を視点として、「個別最適な学び」や「主体的に学習に取り組む態度」の育成を意識した授業改善の研究を進めた。また、令和5年度の学校力向上に関する総合実践事業は「指定地域」として、幌別小学校を中核校、幌別東小学校と幌別中学校区の2校を指定校として実践を重ねてきた。中核校は地域全体で取り組む事業内容のほかに、小学校高学年における理科専科教員の活用、指定校においては、その成果を学校公開や地域協議会の場を活用しながら市内各学校に普及還元してきた。また、市教委は市内全体の学校力の総合的な向上を目指してマネジメントプランの提示等を通じた「取組の可視化」「進捗状況の明確化」を意識してきた。</p>
------------	--

今後の方向性	<p>教職員の人材育成については、実践的指導力や専門性の向上に意欲的に取り組む教職員の育成に努める。</p> <p>そのため、教職員同士が互いに研鑽する機会として、これまで同様に、登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援していく。</p> <p>また、市教育委員会デジタルフェローと連携し、ICTを活用した指導力向上研修に取り組み、校内研修等を通じて成果を広く還元していく。</p> <p>教職員の働き方改革については、ICTを活用し、保護者との連絡体制のデジタル化などの業務改善を行い、時間外在校等時間の削減に努める。</p>
---------------	---

項目	4 豊かな人間性の育成 キャリア教育
点検内容	<p>豊かな人間性の育成については、学校行事や学級活動、児童会・生徒会活動を通して、自己肯定感や自己有用感を醸成し、人権を尊重し他者を思いやる教育を展開していく。</p> <p>また、地域を担う人材の育成という観点から、地域資源を生かした体験活動やキャリア教育のさらなる充実を努めるとともに、地域社会に対する理解を深める取組や教育活動の一層の推進に努める。</p>

取組状況

○自然体験や社会体験、ボランティア活動等、豊かな心を育む体験活動

幌別小	<p>通年 全学年による学級園を中心とした栽培活動 3年生による花壇への花の移植、草取り</p> <p>通年 栄養教諭による食育指導(全学年) 明治から講師を招いての食育指導。</p> <p>4/12 交通安全青空教室(交通指導員の協力) 2年生以上は実際に自転車に乗車して正しい自転車の乗り方、1年生は路上に出て正しい歩き方の練習を行った。</p> <p>5～12月 幌中地区ふるさとふれあい農園活動(地域学校協働本部事業)田植え・稲刈り・収穫祭</p> <p>5/27 田植え(地域学校協働本部事業)</p> <p>7/5 2年生 世代間交流 昔の遊び体験 教育委員会社会教育・地域の方が協力</p> <p>10/15 乗馬体験(地域学校協働本部事業)</p> <p>10/1 ふれあい農園 稲刈り(地域学校協働本部事業)</p> <p>11/7 5年総合 認知症キッズサポーター養成講座 包括支援センターあおいから講師を招き、地域の現状や認知症について学び、認知症患者に対してサポートすることの大切さについて理解を深めた。</p> <p>11/24 邦楽鑑賞会 6年(登別三曲協会協力)</p> <p>12/16 ふれあい農園 収穫祭(幌小実施、地域学校協働本部事業)</p> <p>2/21 スキー学習(5・6年)→保護者・地域ボランティアの方々のご協力をいただき、サンライバスキー場で実施。</p> <p>5/31 縄文出前講座(6年) 菅野学芸員から、登別周辺の縄文人の食生活についての話を聞き、本物の土器や石器を触ることができた。縄文文化について、興味・関心を高め、理解を深めることができた。</p> <p>9/20 3年登別温泉見学学習 地獄谷や温泉街を散策し、施設見学や体験を通して、地元の観光業の中心である登別温泉について理解を深めることができた。</p> <p>6/21 ふおれすと出前講座(5年)宿泊学習の事前学習として、ふおれすと鉱山から講師を招</p>
-----	--

	<p>き、鉾山町の歴史や鉾山町でとれる岩石、鉾山町付近に生息する動物などについて理解を深めた。</p> <p>10/30, 31 3年社会科見学(ドーピー建設工業見学) 「ドーピー建設工業」の工場見学を通して、働く人たちの知恵や工夫・苦勞について理解を深めた。</p> <p>10/27 4年総合 見学学習(ウポポイ) 社会科や総合的な学習でアイヌ文化について事前学習を行った。ウポポイ見学では、アイヌ文化の歴史や文化の多様性に気付き、深い学びにつなげることができた</p> <p>10/28 スマホ・ケータイ安全教室(全学年) 講師:KDDI村田様 携帯電話の使用上のマナーや危険性、問題点に学び、正しい使い方について学んだ。</p> <p>12/1 薬物乱用防止教室(5・6年 講師:室蘭警察署向井様) 犯罪の現状について講話を受け、トラブルに巻き込まれないために気を付けるべきことについて理解を深めることができた。</p> <p>5/9 租税教室6年 室蘭税務署から広報官を招き、税金のない世界のアニメ視聴をすることを通して、税金の大切さについて理解を深めることができた。</p> <p>11/16 5年総合 福祉出前講座・あいサポート講座(講師来校) 視覚に障がいのある方を講師として招き、交流を通して、介助など自分たちにできるサポートの体験をし、理解を深めることができた。</p> <p>1/30 6年卒業制作 健千窯から講師を招き、陶芸体験を行った。製作した作品が卒業記念品となった。</p> <p>2/6 2年生雪遊び(緑ヶ丘公園)</p> <p>2/7 1年生雪遊び(緑ヶ丘公園)</p> <p>2/28 全市一斉ピンクシャツデーへの取組</p>
幌西小	<p>学級園等での栽培活動(全学年)</p> <p>4/19 4/24 交通安全教室 5/9 租税教室(6年)</p> <p>5/31, 6/21, 9/13 お迎え訓練(悪天候や野生生物への対応を想定した引き渡し訓練)</p> <p>6/7, 10/4, 1/24 おたすけ清掃(PTA) 6/9 縄文出前講座(6年)</p> <p>6/22 栄養教諭食育授業(2年) 7/5, 11/22, 2/28 ふれあい清掃</p> <p>9/15 遠足(1-4年) 9/5 栄養教諭食育授業(4年)</p> <p>10/4 キウシト事前学習(2年、NPO法人キウシト)</p> <p>10/12 キウシト現地学習(2年) 10/19 ふおれすと校外学習(3年)</p> <p>10/26, 28 ドーピー工場見学(3年)</p> <p>10/26 アイヌ見学学習(4年) ※ウポポイ 11/28 マンドリン鑑賞会(3, 6年)</p> <p>12/18 人権教室(2・4年) 室蘭法務局 1/25 1/30 川上公園校外学習(1年)</p> <p>1/31 英検Jr(4年) 2/8 川上公園校外学習(2年) 2/15 スキー学習(5・6年)</p> <p>2/28 全市一斉ピンクシャツデーへの取組</p>
鷺別小	<p>4/10 なかよし登校～13日</p> <p>6/19 あいさつ運動(児童会)</p> <p>6/26 租税教室(6年)</p> <p>6/22 トラック協会による交通安全教室 縄文出前講座(6年) →未実施</p> <p>7/10, 11 ふおれすと鉾山自然体験学習(5年)</p> <p>8/29 パロマ工場社会科見学(3年)</p> <p>9/22 世代間交流(1年)</p> <p>9/26 ウポポイ、クリンクルセンター見学学習(4年)</p>

	<p>9/29 登別温泉体験 カントレラ見学学習（3年） 10/17 文化芸術による子供育成推進事業（6年） 10/31 福祉学習（5年） 12/11 福祉学習（5年） 12/14 食育指導（3、4年） 2/16 スキー学習（5、6年） 2/28 ひなわし委員会によるピンクシャツデーの取組 通年 学級園での栽培活動（全学年） 通年 ベルマーク回収 通年 ひなわしの木へのメッセージ掲示（児童会）</p>
登別小	<p>学級園等での栽培活動（全学年） 4/21 交通安全青空教室（全学年）登別市交通安全協会 4/29 サケの稚魚放流（登別さけ・ます孵化場）地域支援本部事業 5/10 ふるさと農園でジャガイモの植え付け（2年）（地域ボランティア参加） 6/16 不審者対応訓練（全学年）・・・令和6年は実施なし（隔年実施） 7/15 OMB（おっこマーチングバンド）地域行事参加（4-6年）わくわく広場のぼりべつ 7/18 認知症キッズサポーター養成講座（5年） 8/26 OMB地域行事参加（5・6年）地獄まつり →万世閣ロビーで実施 8/26 ふるさと農園収穫祭（2年）地域ボランティア参加 10月 サケの採卵体験（登別さけ・ますふ化場）地域支援本部事業→遡上数減少による中止 10/28 スマホ安全教室（全学年） 10/28 世代間交流（1年）地域ボランティア参加 10/31 ウポポイ（民族共生象徴空間）見学（4年）・白老町立虎杖小との交流 12/16 OMB定期演奏会（4・5・6年 保護者参観） 2/2 豆まき集会（PTA・地域ボランティアによる） 3月 いじめ撲滅にかんする標語作成と表彰（全学年） 2/14・18 福祉体験学習（3・4年）登別市社会福祉協議会 2/28 全市一斉ピンクシャツデーへの取組</p>
富岸小	<p>6/15 租税教室6年 7/14 縄文出前講座6年 春～秋 花壇や学年園、生活科での栽培活動 通年 玄関ホール・各教室での飼育活動 6・7・11・12月 児童会活動によるいじめ防止のためのあったか富岸小運動 10/17 キウシト湿原学習3年 湿原観察や外来植物の駆除を実施 7/20・7/21 栄養教諭食育授業6年・2年 10/17 芸術鑑賞（演劇鑑賞） 8/25・12/14 福祉出前授業 視覚障害の方の講和、体験学習4年 10/24 人権教室4年 10/31 ウポポイ見学4年 11/25 PTA 富岸小祭り 2/3 PTA 餅まき 2/13・2/22 スキー学習5年・6年 2/26 認知症サポーター養成講座5年 2/28 全市一斉ピンクシャツデーへの取組</p>
幌東小	<p>児童会による「いじめをなくすための取組」「あいさつ運動」 学級園を中心に栽培活動と学級花壇のお世話（5～10月） ふれあい農園 田植え 稲刈り 収穫祭 郷土芸能「幌別駒踊り」の継承（全校児童） 8～11月に月1回練習 12月幌別地区市民演芸会参加（全校児童） 5/16 租税教室6年 5/25 図書館見学3年 7/7 認知症サポーター授業4年 7/24 校外班による校区のクリーン作戦（清掃活動） 8/21 浄水場見学4年</p>

	<p>9/7・9/14 福祉出前講座4年 9/12 食育(日本醤油協会)3・4年 9/20 温泉入浴体験、酪農館見学3年 9/27 ウポポイ見学4年 10/4 ドービー建設工業見学3年 11/7 1・2年と5・6年の食育(梶明治) 11/14 世代間交流「ふれあい集会」(地域お年寄りとの交流)3年 11/15 消防署見学3年 12/5 警察署見学3年 1/23 陶芸体験6年 2/7 郷土資料館見学(登別のあゆみ)3年 2/14 スキー学習5・6年 2/26 人権教室3年 2/28 全市一斉ピンクシャツデーへの取組</p>
若草小	<p>通年 児童会によるリングプル回収 通年 学級・学年の昆虫等の飼育ですることにより生き物と触れ合える場としている 5/16 租税教室(6年) 5/17 町会下校指導:出会いのつどい 月2回程度、1・2年の下校を引率してくれる地域の方々とのふれあいの場 5/24 ふれあい農園(じゃがいもの植栽 1・2年) 6/16 縄文出前講座(6年) 6/21 食育授業(栄養教諭1年) 6/23 遠足(1~4年) 7/5 いじめ避難授業(4年) 7/11 食育授業(ヤクルト3年) 7/11,19 福祉出前講座(5年) 7/20 食育授業(カルビー4年) 7/20 世代間交流(2年) 8/30 見学学習(郷土資料館、クリンクルセンター4年) 9/12~13 ふれあい学習(5年) 9/15 見学学習(コープさっぽろ3年) 9/21 ウポポイ見学(4年) 9/28 見学学習(幌別郵便局2年) 10/3 入浴体験(地獄谷、カント・レラ3年) 10/4 食育授業(栄養教諭5年) 10/13 食育授業(メグミルク6年) 10/17 芸術鑑賞(能・狂言6年) 10/24 見学学習(三好製作所、NHK放送局5年) 10/30 人権教室(2・4年) 1/19 邦楽鑑賞会(6年) 1/22 認知症サポーター養成講座(5年) 2/16 福祉体験講座(5年) 2/28 全市一斉ピンクシャツデーへの取組 3/8 卒業制作(書道6年)</p>
青葉小	<p>通年 リングプル回収(車いすへの交換活動、児童会活動) 通年 たたら製鉄学習「総合的な学習の時間」(5年) 通年 キウシト湿原学習「総合的な学習の時間」(3年) 4/25 交通安全教室(全学年) 5/8 ふれあい農園(2年) ジャガイモ植え 5/18 キウシト湿原の会の方による出前授業3年 7/5 福祉学習 出前授業(視覚障害者を招聘)7/13 出前授業(車いす体験など)4年 7/20 租税教室(6年) 9/28 見学学習 白老ウポポイ(4年) 9/29 キウシト湿原での自然体験学習(3年) 11/16 認知症サポーター養成講座(5年) 2/28 全市一斉ピンクシャツデーへの取組</p>
幌別中	<p>通年 毎定期テスト1週間前より、「携帯・スマホ制限期間」を設定(2小学校とも連携) 社団運動や人権、男女共同参画に係る作文コンクールや書道展への出品 5/27 ふれあい農園作業(1年) 7/6 校外学習(1年 フォレスト鉱山における自然体験学習) 7/7 DBA集会(いじめ撲滅集会) 7/19 非行防止教室 講師:市教委社会教育G職員 7/21 ボランティア局地域清掃 9/9 市内一斉合同避難訓練 9/30 学校祭において、行灯行列を実施</p>

	<p>10/4 すばる学級校外学習(藍染、科学館等)</p> <p>10/28 「命の大切さを学ぶ教室」実施(土曜授業:交通死亡事故被害者遺族による講演)</p> <p>12/1 すばる学級職業体験(NPO 法人エスポワール)</p> <p>12/13 認知症サポーター養成講座(2年 講師:登別市地域包括支援センター職員)</p> <p>12/14 校内主張大会</p> <p>12/19 保健指導(性の指導)(3年 講師:The Birds and Bees 代表)</p> <p>12/20 冬休み前啓発集会 講師:室蘭警察署員</p> <p>2/20 保健指導(性の指導)(2年 講師:登別市スクールカウンセラー)</p> <p>2/26 保健指導(性の指導)(1年 講師:登別市保健師)</p> <p>2/28 全市一斉ピンクシャツデーへの取組</p>
鷺別中	<p>通年 生徒会によるペットボトルキャップ、書き損じはがきの回収 → 海星学院に届け、ワクチン支援などに協力</p> <p>4/13 3年による通学路清掃 1・2年による通学路清掃(9/30)→雨天のため中止</p> <p>5月 花壇の土おこし</p> <p>6月 花壇の花苗植え(ボランティア部、特別支援学級)放課後等を活用</p> <p>6/5~6/23 11/6~11/30 生徒会生活向上週間 各委員会の取組実施</p> <p>6/2 2年生SC道徳(早期の問題認識) 7/10 1年生SC道徳(援助希求的態度の育成)</p> <p>7/14 3年生SC道徳(ストレス対処能力の育成)</p> <p>7/20 「いのちのいろえんぴつ」の朗読劇(チームいちばん星)による全校道徳</p> <p>8/4 ギター・マンドリン部演奏(鷺小:ひなわしメート) 地域演奏 →中止</p> <p>8/22 ウポポイ見学(1年) 8/23 携帯安全教室(室蘭警察署)</p> <p>10/3 命の授業 室蘭警察署による全校道徳 11/27 校内主張大会</p> <p>10/4 地域探索(ふるさと学習講演会)1年</p> <p>10/2, 4, 23 保育実習(鷺別保育所)3年 12/11 性教育講話会(性教育)2年</p> <p>12/19 薬物乱用防止講座(室蘭警察署)3年</p> <p>2/28 全市一斉ピンクシャツデーへの取組</p>
登別中	<p>4/15 携帯・スマホ安全教室(KDDI)</p> <p>6/8 登別少年の主張大会全校参加</p> <p>6/9 洞爺湖有珠山ジオパークでの見学学習1年</p> <p>6/26 国際ソロプチミストSクラブ入会式(地域伝統芸能熊舞子ども保存会)</p> <p>7/20 社会を明るくする運動伝達式全校参加</p> <p>8/25 スプルにて熊舞披露</p> <p>8/26 地獄まつり参加 熊舞披露、吹奏楽演奏実施 鬼みこしは猛暑のため中止 外国人観光客に向けて英語や中国語で紹介</p> <p>8/29 生徒会主催いじめ撲滅集会</p> <p>9/29 校下の清掃奉仕活動(町内クリーン作戦)による地域の環境美化</p> <p>10/3 思春期教室(性教育講座)妊婦体験</p> <p>10/19 職業体験学習(校区13事業所)</p> <p>10/28 土曜授業 1年:職業講話(藤崎わさび園) 2年:認知症サポーター養成講座(地域包括支援センター) 3年:薬物乱用防止教室(保護司会)</p> <p>2/28 ピンクシャツ大作戦 3/9 土曜授業 熊舞引継式</p> <p>3/18 お茶の間会議開催(登別市社会福祉協議会)</p>

西陵中	6/1 事前アンケート、生徒会執行部に「いじめ防止」のためのスローガン考案依頼 6/27 「いじめを考える会」について、全校協議会を開催し、アンケートのまとめ、スローガン、学級の意見を発表 7/8 全校道徳「いじめ撲滅宣言」行動宣言読み上げ、My Action Card の記入 9/1 自然体験学習ふおれすと鉱山1年 10/4 認知症サポーター養成講座2年 7/6 ウポポイ見学1年 10/20 職場体験学習1年～工学院 10/31 職場体験学習2年～濱田板金、川田自動車、嶋津歯科、ゼビオスポーツ、アクア美容室、登別カトリック聖心幼稚園、登別グランドホテル、登別伊達時代村、自衛隊幌別駐屯地、ホームストア幌別店 11/30 JICA 出前講座(タンザニア派遣経験者報告) 12/5 思春期教室～保健福祉部健康推進グループ(しんた21内)より保健師派遣 2/28 全市一斉ピンクシャツデーへの取組(実行委員会啓発動画視聴も含む)
緑陽中	7/7 自然体験学習1年(ふおれすと鉱山) 10/31 思春期教室1年 1/24 認知症サポーター養成講座2年 2/28 全市一斉ピンクシャツデーへの取組

- 「スキー授業」及び「温泉入浴体験」
- スキー授業実施日～全ての学校において、予定通り実施。
- R5年度分より実施日は、前年度中に決定するようにした。

【5・6年生】

1/31 青葉小、2/9 若草小、2/13 富岸小5年、2/14 幌別東小、2/15 幌別西小、2/16 鷺別小、2/21 幌別小、2/22 富岸小6年

【登別小(全学年)】

1/23(3・4年)、1/25(5・6年)、1/30(3・4年)、2/6(5・6年)、2/8(1・2年)

- 教職員向け研修

実施日：令和6年1月11日 参加者：18名

教職員だけでなく、地域ボランティアも対象に含め研修を実施した。

指導は、登別スキー連盟指導員3名。

- 温泉入浴体験実施日～全ての学校において、予定どおり実施。

【3年生】9/12富岸小、9/20幌別東小、9/22登別小、9/29幌別小、鷺別小、10/3若草小、10/5青葉小、10/20幌別西小

評価	多くのスキー連盟指導員、地域ボランティアの協力があり、事故なく実施することができた。子供たちのみならず、スキー経験のない教職員も多いため、研修機会の継続と充実を図っていききたい。 温泉入浴体験については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止していたが令和5年度より実施した。温泉入浴体験に併せて公共施設の見学や本市の歴史文化についての学習を行い、地域への愛着や豊かな心を育む体験活動を実施した。
今後の方向性	豊かな人間性の育成については、学校行事や学級活動、児童会・生徒会活動を通して、子どもの意見や人権を尊重し、よりよい人間関係を築きながら、自己存在感や自己有用感を育む取組を続けていく。 また、キャリア教育を推進するため、地域資源や地域人材を活用した体験活動を重視し、「ふるさと登別」のよさを知り、理解を深める教育活動に努める。

項目	5 いじめ・不登校対策
点検内容	<p>いじめ・不登校対策については、引き続き登別市いじめ・不登校等対策会議での事例研修等を通じて、学校現場に携わる関係者一人ひとりがいじめ・不登校を最重要課題の一つと捉えるとともに、いじめの未然防止や早期発見・早期対応、不登校となった児童生徒に対して個別最適な支援を推進するため、教育支援センター機能の充実に努める。</p> <p>また、いじめられていると感じたらすぐに自分の身を守るため、一人で悩まずに誰かに知らせる行動がとれるよう、「SOSの出し方に関する教育」を推進し、体験的な活動を取り入れた授業にも取り組んでいく。</p> <p>そのほか、令和3年度から実施している「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャッター」への参画を継続し、児童生徒がいじめ問題を主体的に考え、各校の児童会・生徒会活動の成果と課題を共有する機会を設けるなど、引き続き「みんなが通いたくなる学校づくり」の取組を推進していく。</p>

取組状況

○いじめの起さない環境づくりや不登校に対する体制づくり

期日	内容
5月10日	第1回いじめ・不登校等対策会議 兼 第1回生徒指導担当者連絡会議 内容：本年度の重点、情報交流 指導力向上研修①：講師：秋葉学務主幹 演題：『いじめの定義 いじめの認知について』
5月15日録画 5月下旬配信	教職員研修会（講演）*GoogleClassroomによるオンデマンド配信 講師：小 沼 豊 氏（北海道教育大学大学院准教授） 演題：『生徒指導におけるいじめ防止と対応の基本と実践』 ～援助要請を促進させる「いじめの避難訓練」～
7月6日	第2回いじめ・不登校等対策会議 兼 第2回生徒指導担当者連絡会議 内容：事例研修（不登校児童生徒への対応、いじめ防止対策）
9月下旬配信	第3回いじめ・不登校等対策会議 指導力向上研修② *GoogleClassroomによるオンデマンド配信 講師：緑陽中学校 内山 勇一 教頭先生 演題：『生徒指導提要から読みとる学校の多様性と包摂性』
10月4日	第4回いじめ・不登校等対策会議 内容：事例研修（不登校児童生徒への対応、いじめ防止対策）
12月7日	第3回生徒指導担当者連絡会議 内容：生徒指導に関する実践交流
1月下旬	第5回いじめ・不登校等対策会議 指導力向上研修③ *GoogleClassroomによるオンデマンド配信 講師：胆振教育局 渡辺 浩輔 指導主事 演題：『生徒指導① 生徒指導②』
2月6日	第6回いじめ・不登校等対策会議 兼 第4回生徒指導担当者連絡会議 内容：各学校の取組の成果と課題の交流 講師：講師：小 沼 豊 氏（北海道教育大学大学院准教授） 演題：『「いじめの避難訓練」を実施した効果について』 ～市内全小学校の調査結果から～

- ・「長期欠席児童生徒の報告」当月7日以上、累計30日以上 報告に基づき支援策等について検討
- ・教育支援センター「鬼っ子広場」週1回 学校の申し出で協議し随時実施 5名通級(昨年度7名)
- ・体験教室「陶芸教室」(健千窯)水曜午前 学校の申し出で協議し随時実施 17名通級(昨年度13名)
- ・自然体験 鷲別岳登山 8月3日予定 ※参加希望が無く未実施
- ・教育指導専門員による相談(電話・来室・メール) 22件(昨年度21件)
- ・教育指導専門員等による学校訪問 年3回(6月、12月、2月)
- ・不登校等支援関係者情報交流懇談会(心の教室相談員・SSW等) 2月6日に実施
- ・保護者相談～希望により随時開催
- ・いじめ関係 アンケート調査(年2回) 取組状況調査(年2回) 対応状況調査(年3回)
- ・不登校児童生徒への支援状況の把握(年2回)

○不登校出現件数・いじめ認知件数の推移

(単位:件数)

不登校出現件数の推移 (病欠以外の欠席累計30日以上)							いじめ認知件数の推移						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5		H30	R1	R2	R3	R4	R5
小	1	1	3	6	10	9	小	11	17	21	34	61	594
中	21	29	26	19	31	39	中	5	7	6	19	39	81
計	22	30	29	25	41	48	計	16	24	27	53	100	675

○SC・SSW・心の教室相談員の支援 ※()は昨年度

- ・SC(スクールカウンセラー)の相談内容

相談者	不登校	いじめ	暴力	友人関係	教師との関係	親子関係	心身健康	発達障害	学業進路	その他	合計
児童生徒	34(70)	0(0)	0(0)	12(18)	0(1)	2(9)	18(2)	13(10)	3(5)	1(-)	83(115)
保護者	24(63)	0(0)	0(0)	4(2)	0(1)	0(3)	4(1)	12(11)	1(1)	3(-)	48(82)
教職員	17(19)	0(0)	0(0)	0(5)	1(1)	0(1)	2(3)	4(8)	2(0)	3(-)	29(37)
その他	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(-)	0(0)

- ・SSW(スクールソーシャルワーカー)～2名配置 活動状況 全学校を訪問

活動時間	10:00～15:45
対象	支援児童生徒 保育所0(0)人 小学校9(7)人 中学校9(6)人 その他0(0)人
問題別	家庭環境9(3)件 不登校12(8)件 暴力行為1(-)件 児童虐待0(0)件 発達障害3(0)件 友人関係1(1)件 教職員関係4(1)件 心身の健康・保健に関する問題3(-)件 その他3(-)件
訪問回数	学校45(34)件 関係機関10(8)件 家庭54(26)件

- ・心の教室相談員 相談件数 計201(192)件

勤務日数 鷲別中80(81)日・幌別中107(101)日・緑陽中0(80)日・西陵中81(80)日・登別中117(80)日

評価	<p>登別市いじめ・不登校等対策会議や教育指導専門員による学校訪問、アンケート調査等を通して、いじめ・不登校の実態把握に努めるとともに、具体的手だての共有を図り福祉部局等の関係機関との連携により効果的な指導を展開した。</p> <p>教育支援センターや各学校の別室指導等において、オンラインでの授業配信や学習アプリを活用した学習支援など、タブレット端末を活用した支援を充実させた。</p> <p>SNS等のデジタルコンテンツの発展や、コロナ禍の生活により、インターネット等の依存症や、生活リズムの乱れなど児童生徒が抱える問題が多様化、複雑化しているこ</p>
----	---

	<p>とから、心の教室相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等への相談が増加傾向にある。</p> <p>また、教育支援センター（「鬼っ子広場」や「健千窯」）では登校への意欲を高めるために、きめ細やかな支援を行うことができた。支援を必要とする児童生徒が効果的に利用することができるよう、引き続き学校・保護者への適切な働き掛けをする必要がある。</p>
今後の方向性	<p>いじめ・不登校対策については、児童生徒がいじめ問題や多様性を尊重することについて、自らの意見を表明する機会として、令和3年度から実施してきた「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャツデー」への参画を通して、いじめ問題への意識が高まってきたと考えている。令和6年度も「みんなが通いたくなる学校づくり」の取組を引き続き推進していく。</p> <p>また、「SOSの出し方に関する教育」について、令和5年度は小学校でロールプレイを取り入れた授業を行うことにより、児童の意識の変容が見られてきたと受けとめている。令和6年度は中学校でも授業を展開し、本人や友人の悩みに気づき、身近にいる信頼できる大人に早期にSOSを発信できるよう、取り組んでいく。</p> <p>一方、教職員は悩んでいる児童生徒にいち早く気づき、声をかけることなどが重要であるため、ゲートキーパー研修等を実施することで教職員のスキルアップに努める。</p> <p>さらに、「登別市いじめ・不登校等対策会議」や「生徒指導担当者会議」での事例研修や情報交換を通して、いじめ問題・不登校の未然防止や早期発見・早期解決に向けた組織的な対応を継続し、教育支援センターの役割を明確にして、不登校となった児童生徒に対する個に応じた支援を推進していく。</p>

項目	6 健康・体力づくり
点検内容	<p>健康・体力づくりについては、コロナ禍の影響により、学校における児童生徒の運動機会が減少しており、毎年実施される「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果からも体力の低下が確認できることから、引き続き小学校へのスポーツ指導員の派遣などを通して、体育指導の充実や運動の習慣化を図っていく。</p> <p>また、「ノーゲームデー」や「登別市ケータイ・スマホ3つのルール」の周知徹底、家庭における「早寝早起き朝ごはん」の啓発など、登別市PTA連合会や登別市校長会等の協力を得ながら、規則正しい生活習慣の定着を粘り強く周知し、健全な心身の育成に努める。</p>

取組状況

○令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果と分析（実施時期：令和5年4～7月）

小学校 5年男子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
全国	498,654	139.6	35.4	16.1	19.0	34.0	40.6	46.9	9.5	151.1	20.5	52.6
北海道	11,520	140.0	37.0	17.0	19.0	34.2	41.8	45.8	9.8	152.4	21.1	52.8
R5登別	187	139.5	35.7	15.4	18.15	35.9	42.0	49.99	9.84	149.86	19.74	52.4
R4登別	152	140.0	37.6	15.7	18.6	36.3	42.7	46.9	9.9	154.4	19.7	53.0
R3登別	168	139.6	36.5	15.6	18.4	35.1	42.4	50.4	9.8	150.4	20.3	52.8

小学校 5年女子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
全国	479.104	141.3	35.3	16.0	18.1	38.5	38.7	36.8	9.7	144.3	13.2	54.3
北海道	11.198	141.9	36.6	16.9	18.1	38.6	40.0	36.1	9.9	145.6	13.9	54.7
R5登別	140	142.0	36.6	16.3	17.2	42.7	40.1	39.0	9.9	145.1	14.0	55.4
R4登別	158	142.3	36.8	16.0	17.3	40.1	40.9	37.9	9.9	149.0	13.9	55.1
R3登別	159	142.2	36.5	16.7	17.8	40.3	41.2	41.1	9.8	146.7	14.8	56.1

中学校 2年男子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復 横とび (点)	持久走 (秒)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
全国	446.511	161.2	50.2	29.0	25.8	44.2	51.2	409.2	78.1	8.0	197.2	20.4	41.3
北海道	11.446	162.2	52.3	29.6	25.2	42.4	49.9	426.8	74.2	8.2	194.6	20.1	40.0
R5登別	122	161.7	50.3	28.0	23.0	42.3	46.7	452.0	74.1	8.4	191.24	18.87	37.4
R4登別	152	161.1	51.5	27.8	24.1	42.7	48.6	422.1	71.5	8.4	196.7	18.6	37.6
R3登別	167	161.4	50.0	27.9	26.4	43.4	51.1	445.5	82.8	8.1	200.7	20.3	41.0

中学校 2年女子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復 横とび (点)	持久走 (秒)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
全国	421.336	155.0	46.9	23.2	21.6	46.3	45.7	306.3	51.0	9.0	166.3	12.4	47.2
北海道	10.437	155.1	47.4	23.0	20.7	45.0	44.3	328.9	46.7	9.2	162.0	12.2	45.1
R5登別	128	155.1	47.33	22.6	18.13	44.4	43.4	353.3	48.15	9.2	161.4	11.6	43.1
R4登別	142	154.2	46.5	21.4	19.7	44.4	41.9	309.7	44.2	9.3	161.0	11.7	41.4
R3登別	156	155.3	47.9	22.5	20.5	46.8	44.7	317.9	51.9	9.0	168.1	12.7	46.7

<小学校男子>

- ・体力合計点について、全国平均を下回っている。
- ・「長座体前屈」は全国平均を上回り、「反復横とび」「20mシャトルラン」はやや上回り、「立ち幅とび」は同程度であり、「握力」「上体起こし」「ソフトボール投げ」はやや下回り、「50m走」は下回っている。

<小学校女子>

- ・体力合計点について、全国平均を上回っている。
- ・「長座体前屈」は全国平均を上回り、「反復横とび」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」はやや上回り、「握力」「立ち幅とび」は同程度であり、「上体起こし」はやや下回り、「50m走」は下回っている。

<中学校男子>

- ・体力合計点について、全国平均を下回っている。

- ・「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」は全国平均をやや下回り、「上体起こし」「反復横とび」「持久走」「50m走」「ハンドボール投げ」は全国平均を下回っている。

<中学校女子>

- ・体力合計点について、全国平均を下回っている。
- ・「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」は全国平均をやや下回り、「上体起こし」「反復横とび」「持久走」「50m走」「ハンドボール投げ」は全国平均を下回っている。

○体力向上一校一実践内容

幌別小	短縄 記録カードをもとに練習(全学年、通年) 長縄記録会(全学年 12月)全校で記録会実施
幌西小	短縄による日常的な体力づくり(全学年、通年) 短縄週間の取組(年2回)
鷺別小	12/15 縄跳び記録会 「がんばりカード」の年間活用
登別小	なわとび(全学年、通年)自己目標を設定 体力づくりの時間に取り組む。 すもう(全学年 6~7月)体育の時間に実施、夏場所(7月)を設定する。 持久走(全学年 8~9月) 自己目標を設定、体力づくりの時間に取り組む。 9/29、10/2 持久走記録会(全学年) スキー(全学年 1~2月) 裏山(主に1・2年使用) スキー場(1・2年1回、他2回)
富岸小	なわとび道場(全学年、通年)毎朝のなわとび実施 短縄大会(全学年、6月) グラウンドにドッジボールコート常設 マイペースラン(全学年、9月) 長縄大会(全学年、12/2) とんけし運動広場(おにスポ主催)
幌東小	全校児童「新体力テスト」の実施 校内体力づくりの実施~短縄跳び、体力アップチャレンジ(持久走の練習) 10/13 全校持久走記録会 朝の体力づくり 週1回 金曜日に実施
若草小	なわとび 休み時間に「なわとびカード」の名人を目指して取り組む(6月~12月) 「短縄記録会」(9月)の開催 2/9 スキー学習(5・6年)
青葉小	「新体力テスト」実施(全学年) 短縄跳び(全学年、6~2月)学級ごとに取り組む。
幌別中	ダンス指導学年単位で発表(3学期) 保体専門委員会による球技交流会の実施(3学期)
鷺別中	2年生 新体力テストの結果を受けて、体育科通信の発行と体育授業での補強運動を実施 2年生 2月ダンス指導及び発表会の実施
登別中	導入5分間アップ(全学年・通年)授業導入時筋トレ、コーディネーショントレーニング実施 体力アップイベント(全学年)体幹トレーニングなど生徒による企画と実行 ダンス指導(全学年)インストラクターによる指導
西陵中	保健体育の授業において毎時間必須の基礎体力作り運動を実施 (年間 1,050回以上を超える体力運動実施)
緑陽中	「新体力テスト」実施(全学年) 長縄跳び(全学年体育科で実施)

○体育コーディネーターの活用による体育授業及び体力向上の支援(子ども健康・体力改善事業)

委託先 NPO法人「おにスポ」

市内全小学校にスポーツ指導員を1校あたり授業で年間209.25時間以上、放課後の運動教室で年間20時間以上開催。

- 実施内容
- ①「体育の授業」質向上支援~柔軟性・俊敏性を養う動きを取り入れた準備運動の導入。
 - ②実技の手本を見せ、児童へ体の動かし方やコツ、練習のポイントのアドバイスを実施。
 - ③準備運動で、単位時間の中で行う運動に必要な筋肉を使う体操を導入。

④体力向上を図る取組の支援～・おにごっこや球技を取り入れた遊びへの参加について、積極的に児童に働き掛けることで、運動への意欲の向上を図るとともに、運動不足の解消、持久力、瞬発力を高められるような取組を実施。

⑤新体力テストの実施に関する指導補助。

実績

①授業実施時間

鷺別小	若草小	富岸小	青葉小	幌別小	幌東小	幌西小	登別小
209.25	209.25	209.25	209.25	209.25	209.25	217	209.25

②放課後の運動教室開催時間

鷺別小	若草小	富岸小	青葉小	幌別小	幌東小	幌西小	青葉小
20	20	20	20	20	20	20	20

○栄養教諭による食育・給食指導

・勤務校での指導状況

【幌別小】

- 1年 4/13 給食を楽しく食べよう 6/23 給食ができるまでを知ろう
7/14 乳牛について（明治食育教室）
- 2年 6/29 元気が出る朝ごはん（明治食育教室） 11/21 おはし名人になろう
- 3年 2/6 食べ物の3つの働きを知ろう 8/31 おなか元気教室（ヤクルト）
- 4年 6/28 じょうぶな骨を作ろう（明治食育教室） 9/14 朝ごはんのよさ、働きを見直そう
- 5年 7/14 運動と食事（明治食育教室） 2/8 食べ物の働きについて知ろう
- 6年 6/28 希望のチョコレート（明治食育教室） 9/27 給食メニューを考えよう

※ 給食指導～毎日学級訪問 食育掲示の充実～年10回程度、給食だよりの発行年12回発行

【幌別東小】

- 1年 9/11 給食について知ろう
- 2年 1/30 手洗い名人になろう
- 3年 12/11 食べ物の3つの働きを知ろう
- 4年 12/12 バランスの良い朝ご飯について考えよう
- 5年 11/16 五大栄養素について知ろう
11/16～24 給食を五大栄養素に分ける活動（知識の定着） 11/29 味噌汁を作ろう
- 6年 8/31 畑でとれた野菜で野菜炒めを作ろう 9/14 給食メニューを考えよう
- 1・2年 11/9 朝ご飯の良さについて考えよう（明治食育教室）
- 3・4年 9/12 醤油のひみつ（日本醤油協会）
- 5・6年 11/9 チョコレートが出来るまでを知ろう（明治食育教室）

※ 給食指導～毎日学級訪問、食育掲示の充実～年10回程度、ポピュレーションアプローチの徹底、給食だよりの発行年12回発行

・派遣先での指導状況

- 幌西小 6/22 2年（給食ができるまで） 9/5 4年（朝ごはんのよさを知ろう）
- 若草小 6/21 1年（給食ができるまで） 10/4 5年（食べ物の働きについて知ろう）
- 登別小 10/13 2年（給食ができるまで） 11/14 5年（食べ物の働きについて知ろう）
- 青葉小 10/25 2年（給食ができるまでを知ろう） 11/15 4年（食べ物の3つの働き）
- 鷺別小 12/14 3年（食べ物の3つの働き） 12/14 4年（よりよい朝ご飯について）
- 富岸小 9/13 6年（バランスのよい給食メニューを考えよう） 9/12 2年（給食ができるまでを知ろう）

○薬物乱用防止教室

幌別小	12/1 5・6年 危険ドラッグも含めた非行の実態について室蘭警察署員（向井様）による講話
幌西小	薬物乱用防止に関する資料等を活用し学級担任が保健の時間に指導
鷺別小	6年 シンナーや麻薬の恐ろしさについて、担任による指導（保健の授業で実施）
登別小	薬物乱用防止に関する資料等を活用し、学級担任が保健の時間に指導
富岸小	2/8 6年薬物乱用防止教室 室蘭警察署員から薬の恐ろしさと使用は絶対にいけない旨の講話(喫煙も含む)
幌東小	6年 薬物乱用防止に関する資料を活用し養護教諭が保健の時間に指導
若草小	12/19 非行防止教室(6年)
青葉小	薬物乱用防止に関する資料等を活用し学級担任が保健の時間に指導
幌別中	7/19 非行防止教室 講師：市教委社会教育G職員 12/20 冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員
鷺別中	12/19 3年 薬物乱用防止教室(室蘭警察署)
登別中	10/28 3年薬物乱用防止教室(保護司会)
西陵中	11/22 3年 室蘭警察署員による、薬物全般に関する講話
緑陽中	11/16 薬物乱用防止教室(2年)

評価	<p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、小学校女子で全国平均を上回り、小学校男子・中学校男子・中学校女子は全国平均を下回った。</p> <p>小学生は「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」について全国平均を上回っていることから、柔軟性、敏捷性、全身持久力といった体力要素が備わっていると考えられる。</p> <p>また、小・中学生ともに上体起こし「50m走」について全国平均を下回っていることから筋力、持久力、疾走能力を高める取組を進めていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>健康・体力づくりについては、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果からも体力の低下が確認できることから、小学校へのスポーツ指導員の派遣などを継続して、体育指導の充実や運動の習慣化を図り、体力向上に向けて組織的に取り組んでいく。</p> <p>また、規則正しい生活習慣を身に付ける取組として家庭における「早寝早起き朝ごはん」の啓発、「登別市ケータイ・スマホ3つのルール」について周知徹底するなど、児童生徒の健全な心身の育成を図っていく。</p>

項目	7 幼保小中連携 小中一貫教育
点検内容	<p>幼保小中連携については、引き続き登別市幼保小中連携協議会や登別市幼保小実務担当者会議等を通じ、円滑な学校間連携や接続を実現するために、相互参観や教職員・子どもとの交流を継続するとともに、スタートカリキュラムの改善など、発達段階や学びの連続性を踏まえた活動の充実に取り組んでいく。</p> <p>また、「中1ギャップ問題未然防止事業」を推進し、その成果を市内小中学校に還元するとともに「登別市小中一貫教育基本方針」や各中学校区に設定する「目指す子ども像」に基づき、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導のさらなる充実を努める。</p>

取組状況

○令和5年度の幼稚園・保育所と小・中学校の連携事業

事 案	発 信 元	内 容
不審者情報・凶悪事件	社教G・学校	・警察・胆振教育局からの情報：市、学校区の対応
行事案内	学校	・年間行事予定・学芸会・運動会・卒入学式案内
学校だより	学校	・月1回作成 1部配付
教育委員会広報	学教G	・教育行政全般の活動報告

○日常の情報交流、指導者・子どもの交流について

幼保・小・中連携協議会	幼保小中	10/27 登別市幼保・小・中連携協議会 出席：幼稚園代表・保育所代表・校長会代表・教育委員会 内容：令和5年度の連携の在り方と取組について
	幼保小	10/27 実務担当者会議（幼保小間の連携による子どもへの指導や関わりを円滑に進めるための情報交流・意見交換を実施） 出席：市内幼稚園12名・市内保育所4名・市内各小学校教諭15名・子育てG1名・市教委7名 3/25・26 「幼・保・小」実務担当者会議〔合同引き継ぎ会〕（就学前の個々の実態やアレルギー等配慮が必要な事柄、就学後予想される課題について、情報や意見交換を実施） 出席：登別市内の幼稚園・保育所18名、室蘭市内の幼稚園・保育所14名・市内各小学校18名・市教委2名
1日体験入学	幌別小	2/2 新1年生と現1・2年生の交流を生活科の授業体験を通して実施。同日、保護者説明会・教材購入も実施。
	幌別東小	1/31幌別中学校一日入学 2/1新入生一日入学と保護者説明会
	登別小	2/1 次年度就学予定幼児を対象に実施、同日に保護者を対象とした学校説明会・PTA説明会、教材販売を実施。
	幌西小	2/1 1日入学・入学説明会 本校1年生児童と新1年生が交流（1年生と一緒にものづくり）
	富岸小	2/6 一日入学
	若草小	2/7 新1年生1日入学・保護者説明会実施
	青葉小	2/7 一日体験入学・保護者説明会
	鷺別小	2/1 新一年生1日入学
	登別中	11/14 新入生体験入学 教育活動等説明、授業体験、部活動地域移行説明
	幌別中	1/31 小6年生対象の体験入学を実施 11/27 保護者向け説明会を実施。
	西陵中	11/9 新入生体験入学・保護者説明会（概要説明、授業見学）
	緑陽中	11/9 新入生体験入学 学校の概要説明、授業見学
	鷺別中	10/24・25 新入生体験入学Ⅰ 学校の概要説明、部活動見学 11/28・29 新入生体験入学Ⅱ 授業体験（数学・英語）

交流活動	西陵中校区	小中合同挨拶運動(朝、本校生徒会と幌西児童会) 8月、2月 出前授業 3月 (音楽科) 6/29 10/31 2/22 小中一貫教育推進協議会 (両校分掌代表教員による研究協議を3回実施)
	幌西小	年間、授業参観や校内研修に合わせた相互の授業見学 10/23 登別明日生徒による英語学習サポート 10/24~25 登別明日生徒 インターンシップ受入 (1名) 11/9 6年生西陵中学校1日体験入学 1/26 6年生中学校授業参観
	鷺別中	12/1 中学校区教員合同研修 (全体研修、部会協議) 5/24, 7/21, 10/19, 1/17, 2/26 鷺別中学校区小中連携協議会 1/30 鷺別中学校参観授業 兼 小中交流授業公開 (鷺小 1/18、19 公開 若小 1/25、26 公開)
	鷺別小	10/24 11/26 鷺別中学校体験入学 7/13 10/20居住地交流
	若草小	リリー文化幼稚園児との交流 (インフルエンザ流行により中止) 10/16・17 登別明日中等教育学校インターンシップ受入 10/25, 1/30 居住地校交流 (室蘭養護学校) 10/25, 11/29 鷺別中学校体験入学 (6年生)
	幌別中校区	5/30 校区内合同研修会 (幌別中授業参観、グループ別協議)
	幌別中	9/11・12 登別明日中等教育学校6年生インターンシップ 3/14 音楽科教員による幌別小6年生対象合唱指導
	幌別小	10/31 カトリック幼稚園年長児と1年生の交流(ハロウィン) 1年生がカトリック幼稚園を訪れ、年長児と交流。 学習発表会の際のダンスの交流を行った。 11/28 カトリック幼稚園年長児と1年生の交流 (秋のたからものランド) 2/14 カトリック幼稚園授業参観(言語通級教室職員4名) 3/14 音楽科教員による幌別小6年生対象合唱指導
	幌東小	運動会総練習を幌別保育所の幼児が見学→中止 10/28 学習発表会に東保育所幼児招待→中止
	登別中	7/24 登別中校区第一回小中連携会議 2/22 出前授業(6年生) 登別中校区第二回小中連携会議
	登別小	11/14 登別中学校体験入学 (6年生) 12/20 コロボックル年長 2年生活科に参加 2年生が生活科でおもちゃを作成し、園児が遊ぶ形式での交流 2/22 登別中学校教諭出前授業 (6年生)
	緑陽中	2/1 緑陽中学校区三校交流会
	富岸小	2/1 緑陽中学校区三校交流会 11/9 緑陽中学校1日体験入学 (6年生)
	青葉小	11/9 緑陽中学校1日体験入学 (6年生)

小中合同 避難訓練	幌別中地区	9/9 全市一斉合同避難訓練→幌小のみ雨天中止
	西陵中校区	9/9 全市一斉合同避難訓練の実施
	緑陽中校区	9/9 地区避難訓練（津波）
	鶯別中校区	9/9 避難訓練開催→合同開催は中止（若草小・鶯別小）
	登別中地区	9/9 全市一斉防災避難訓練の実施（津波）
家庭科～保育体験	鶯別中	10/2, 4, 23 3年生 鶯別保育所で保育実習
	登別中	3年 コロボックルの森 保育実習→中止
	緑陽中	10/10 3年生 富岸子育てひろばで家庭ふれあい体験
総合的な学習の時間	登別中	10/19 職業体験 2年生 コロボックルの森・登別小他、 校区内事業所
	幌別中	1/26 2年生 日本工学院でのキャリア教育（コース別体験学習）
	西陵中	10/20 職業体験 2年生 市内各受入先にて体験 10/31 職場見学 1年生（工学院）
	鶯別中	8/22 1年生 ウポポイ学習
		10/4 1年生 講師を招き、ふるさと（キャリアに関して）講演会
		10月 1年生 地域探索（キャリアプランの作成を絡めて）
緑陽中	12/5, 12, 15 2年生 日本工学院体験授業（職業体験学習代替） 10/10 2年生 職業体験	
幼稚園・保育所視察	幌別小	2/14 カトリック幼稚園授業参観（言語通級教室職員4名）
	幌西小	白菊、カトリック幼稚園との交流（お互いの授業参観）
	登別小	コロポックルの森 入学式、発表会、参観日等に視察 →中止
	鶯別小	1/11 鶯別保育所 1/12 栄町保育所 視察
	富岸小	3/15 リリー文化幼稚園訪問
	若草小	2月中に入学予定の児童が在籍している市内・近隣の幼稚園・ 保育所・こども園全てに教務主任、養護教諭が視察に行く。
	登別中	10/19 職業体験の時に合わせてコロポックルの森を視察
	鶯別中	10/2, 4, 23 3年生 鶯別保育所園児に手作りおもちゃを贈呈
	緑陽中	保育体験の時に合わせて富岸子育て広場を視察
	幌別中 西陵中	東保育所の避難訓練場所として敷地内を提供 職業体験に合わせて市内幼稚園を視察 10/20 登別カトリック聖心幼稚園

○小中一貫した教育の推進

市内全中学校区で推進協議会の立ち上げ～めざす子ども像の検討、取組内容の検討、企画、実行。
中学校区内で合同研修会開催～校区内の教職員で目的や課題の共有。具体的な取組内容の確認。
全ての中校区で、学校評価の項目の一部を統一し、成果と課題の共有化を図る。

評価	<p>幼稚園、保育所、小学校の関係者による実務者担当者会議では、幼保小間の連携の計画や情報交流・意見交換を実施した。</p> <p>また、合同引継ぎ会では、本市に入学する幼児1人ひとりについて、配慮事項等について情報共有を図った。</p> <p>小中一貫教育については、中学校区毎に複数回互いに授業参加や意見交換会をするなど、学習指導や生徒指導の向上を図った。</p>
-----------	--

今後の方向性	<p>幼保小中連携・小中一貫教育については、「登別市幼保小中連携協議会」や「登別市幼保小実務担当者会議」を通じ、円滑な学校間連携や接続を実現するために、相互参観や教職員・子どもの交流を継続していく。</p> <p>また、「登別市小中一貫教育基本方針」に基づき、各中学校区で「目指す子ども像・15歳の姿」を共有し、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導の充実を図っていく。</p>
---------------	---

項目	8 特別支援教育
点検内容	<p>特別支援教育については、登別市教育支援委員会などによる教育相談の充実や関係機関との連携により、特別な支援や合理的な配慮を必要とする児童生徒が幼児期から一貫した支援を受けられるよう、支援体制の充実に努める。</p>

取組状況

○市内小中学校の特別支援学級の状況 ()内は前年度

	小 学 校	中 学 校	担当教員	46名(39名)
知的障害学級	8学級27名(8学級32名)	6学級19名(5学級12名)	介助員	8名(9名)
自閉・情緒学級	10学級44名(10学級41名)	5学級15名(5学級13名)	学習支援補助員	20名(20名)
肢体不自由学級	2学級2名(1学級1名)	設置なし	担当教員はハーフ勤務6人含む	

○登別市教育支援委員会の取組

①就学前からの教育相談や就学指導

	担 当	内 容
パートナーティーチャー派遣事業	学教G	特別支援学校教員による小中学校の発達障がいを含む障害のある児童生徒に対する指導・支援 活用校～若小 1名 幌西小5名 幌東小2名 登小1名 鷺別中6名 西陵中1名
教育支援委員会 9月～12月	学教G	適正就学に向けた取組 ・委員の幼稚園・保育所訪問観察・検査、担当者との懇談 ・諮問：10/30 答申：12/11 (全委員出席) ・総合検査：10/31 検討審査：11/28～12/1
教育支援委員の学校訪問	学教G・対象校	9～11月実施
1日体験入学	全小学校	1～2月各学校で実施
新入学児童合同引き継ぎ	幼・保・小	3/25.26 幼保・小実務担当者会議(合同引き継ぎ会)

②その後の一貫した支援

・各種研修会

【登別市特別支援教育振興協議会主催 夏季研修会】

日 時:令和5年8月1日(火) 14:00～16:00 場 所:富岸小学校

内 容:「発達検査(WISC-IV)の解釈と活用」

講 師:北海道教育庁胆振教育局 教育支援課義務教育指導班 指導主事 油川 智史 氏

【登別市特別支援教育振興協議会主催 冬季研修会】

登別市特別支援教育振興協議会主催日 時:令和5年12月27日(水) 14:30～16:30 場 所:富岸小学校

内 容:「～子どもの未来を見据え、支援のあり方や教育・福祉の連携手法を考える～」

講 師:登別市総合支援センターen 施設長 北條 智幸 氏

- ・登別市特別支援教育振興協議会主催 特別支援学級作品展 10/21（土）～10/27（金）

目的：作品を通じた交流により間接的に思いを感じたり伝えようとしたりする態度を育成し、コミュニケーション能力の向上を図る。

- ・関係部局との連携

- ・関係部局との連携

○5歳児相談（保健福祉部健康推進グループ） 年6回

子供の状況を早期から把握し、学教教育にスムーズにつながるよう、市内の小・中学校での特別支援の状況の説明や子供の様子に不安のある保護者との教育相談を実施する。

5月17日 初就学に向けた説明会10名 教育相談1名

7月19日 初就学に向けた説明会14名 教育相談2名

9月20日 初就学に向けた説明会12名 教育相談3名

11月15日 初就学に向けた説明会12名 教育相談1名

1月23日 初就学に向けた説明会20名 教育相談2名

2月16日 初就学に向けた説明会17名 教育相談2名

○就学説明会（保健福祉障がい福祉グループ）

次年度就学されるお子さんがいる家庭を対象に「就学の流れを知ろう」をテーマに実施する。

日時：令和5年7月11日(火) 登別市民会館 10：00～12：30

講話参加者：8名 個人懇談：3名

評 価	<p>登別市教育支援委員会の活動に、各学校の特別支援教育コーディネーターや関係機関の担当者、保護者とのきめ細かな連携に努め、教育相談を適切に実施し、一人一人の教育的ニーズに応じた教育の充実を図るとともに、就学後も必要に応じて進めることができた。特に、新入学児童の就学に関わっては、教育支援委員会の調査員が幼稚園、保育所、療育機関を訪問し、児童の観察、担当者からの聞き取りを丁寧に行うなど、児童の適正な学習環境の整備を目指して取り組んだ。</p> <p>学校における支援ファイル「ふくはうち」の利用促進のほか、保健福祉部健康推進グループや障がい福祉グループが行う就学前の児童を対象とした相談の機会に、特別支援教育の説明や個別の教育相談を実施し、教育と福祉が連携することで、一貫した子育て環境を目指した取組を推進することができた。</p> <p>言語障害通級指導教室（幌別小・鷺別小）では、言語障害に加えてコミュニケーションや情緒面の困難を併せもつ児童の指導に取り組むことができた。</p>
今後の方向性	<p>『特別支援教育』については、登別市教育支援委員会などによる教育相談の実施や関係機関との連携により、幼児期から切れ目のない一貫した支援体制を継続し、個の特性に応じた指導・支援に努める。</p>

※登別市支援ファイル「ふくはうち」とは…障がいのある方や発達に心配のある方の情報を保健・福祉・医療・教育・就労などの関係機関で共有することで、地域の中で一貫した継続的な支援が受けられるよう、本市保健福祉部障がい福祉グループが作成したもの。

項目	9 安全対策・安全指導
点検内容	<p>安全対策・安全指導については、学校が実施する避難訓練や一日防災教室などによる防災教育のほか、災害等が発生した場合に児童生徒自らが適切な対応がとれるよう、平時からフェーズフリーの視点を生かした教育活動を推進していく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策については、国や北海道の通知に準拠して教育委員会が作成している基本対応マニュアル等を常に見直しながら、感染状況を的確に把握し、感染症の拡大防止と歩みを止めない教育活動の両立に努める。</p>

取組状況

○交通安全指導

小学校～入学前、学校説明会で通学路地図を保護者に手渡し、実際に保護者と歩くことを推奨。新学期に合わせ交通安全教室実施。入学後、教職員による登下校指導や自転車の実地指導実施。中学校～新学期に合わせ交通安全教室実施。自転車通学を認めている学校ではパンフレット等作成し指導を重ね、安全意識啓発。

○ネットパトロールによる取組

- ・道教委委託から情報提供に基づき、その状況に応じて全体あるいは当事者に指導し、保護者に協力を求めるもの。令和5年度の情報提供の数は8件（委託会社）、2件（学校）。すべて解決済み。

○通学路の安全

- ・危険箇所の把握と改善～各校から通学路危険箇所の報告を受け、道路管理者など関係機関と通学路の合同点検を実施後、通学路安全推進協議会を開催し、合同点検箇所の結果の共有や危険箇所に対する対策メニューを決定し、一部の危険箇所について対策を実施した。
- ・通学路安全プログラムに基づく危険箇所は29箇所であり、市HPや各校通学路安全マップ等で周知を図っている。

【協議会参加予定者】北海道開発局室蘭開発建設部・胆振総合振興局室蘭建設管理部・室蘭警察署交通課
登別市都市整備部・市民生活部・登別市教育委員会学校教育グループ

- ・地域や保護者の協力を得た見守り活動～町内会等地域ボランティアによる見守り活動のほか、保険会社や郵便局など、市が協定を結ぶ企業と情報共有をして進めた。

○防犯教室

幌別小	4月（4/24～4/28）安全指導週間（不審者対応等 室蘭警察署よりビデオ借用、各学級で視聴と指導） 12/1 薬物乱用防止教室（5・6年 講師：室蘭警察署向井様） 犯罪の現状について講話を受け、トラブルに巻き込まれないために気を付けるべきことについて理解を深めることができた。
幌西小	7/4 不審者対応教室（全学年） 講師：室蘭警察署生活安全係
鷺別小	7/20 不審者対策集会 講師：室蘭警察署員 対象：全学年
登別小	6月 不審者対応訓練（全学年）・・・※令和6年は実施なし（隔年実施予定） 10/28 スマホ安全教室（全学年）
富岸小	5/22 安全教室
幌東小	6/17 スタディちゃんの家駆け込み訓練
若草小	5/12 交通安全教室（1・2年） 5/23 交通安全教室（4・6年） 5/30 交通安全教室（3・5年）
青葉小	5/23 防犯教室（4・6年生） 7/11 防犯教室（3・5年生）
幌別中	7/19 非行防止教室 講師：市教委社会教育G職員

	12/20 冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員
鷺別中	8/23 1年携帯安全教室(室蘭警察署) 12/19 3年薬物乱用防止教室(室蘭警察署)
登別中	4/15 携帯スマホ安全教室(講師：KDDI社員) 4/24 1年交通安全教室 10/28 3年薬物乱用防止教室
西陵中	11/22 薬物乱用防止教室(3年学年道徳)
緑陽中	4/11 交通安全教室 11/16 薬物乱用防止教室(2年)

○情報モラル教育～インターネット安全教室

幌別小	10/28 スマートフォンや携帯電話の利用方法・マナーについて学ぶ。 対象 全学年児童、全保護者 講師：KDDI村田様
幌西小	7/8 インターネットやスマホの安全な利用法やネットトラブルなどについて、「auスマホ トラブル講座初級編」(ユーチューブ)の動画を活用し学級毎に指導(高学年)
鷺別小	10/23 携帯電話インターネット安全教室(5,6年)-NTTドコモ-
登別小	10/28 スマホ安全教室(全学年) 外部講師：室蘭警察署員 実際の被害事例に基づき、危険性と安全な使用の仕方についての講話。
富岸小	「ケータイ・スマホ3つのルール」強調ウィーク 10/28 メディアトラブル講座(保護者対象)
幌東小	7/19 4年生以上対象 ネット安全教室
若草小	2/2 情報モラルオンライン出前授業(5年 LINE) 10/11 スマホ・ケータイ安全教室NTT(3・4年)
青葉小	5/23 防犯教室「スマートフォン・ネットトラブル等」(4・6年生) 室蘭警察署
幌別中	7/19 非行防止教室 講師：市教委社会教育G職員 12/20 冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員
鷺別中	8/23 1年携帯安全教室(室蘭警察署) 12/16 スマホ携帯の危険性について 新入生保護者説明会にて保護者対象(室蘭警察署員)
登別中	4/15 携帯スマホ安全教室(講師：KDDI社員)
西陵中	6/30 スマホ・ケータイ安全教室(全学年対象：全校道徳)
緑陽中	4/15 SNSトラブル防止教室

○インターネット使用に関わる指導や啓発の取組

- ・小4から中3まで、ゲーム機やスマートフォン等インターネット機器に関する調査を年1回(5～6月)実施
 - ※「自分専用のインターネットが使用できる機器の所有率」 令和5年5月調査結果 ※()は昨年度
小4 76.7% 小5 85.3% 小6 91.5% 中1 92.3% 中2 92.4% 中3 93.8%
(小4 83.3% 小5 76.1% 小6 87.6% 中1 93.2% 中2 95.8% 中3 98.4%)
 - ※「スマホ所持率」 令和5年5月調査結果 ※()は昨年度
小4 33.2% 小5 38.5% 小6 55.4% 中1 72.9% 中2 81.0% 中3 88.0%
(小4 31.5% 小5 46.8% 小6 47.8% 中1 74.1% 中2 80.7% 中3 87.3%)
 - ※「スマホ・携帯の1日の使用時間が3時間以上の割合」 令和5年5月調査結果 ※()は昨年度
小4 13.8% 小5 19.2% 小6 31.6% 中1 20.8% 中2 28.9% 中3 31.1%
(小4 12.8% 小5 20.4% 小6 18.2% 中1 20.7% 中2 32.3% 中3 29.5%)
- ・各学校では「ケータイ・スマホ3つのルール」に基づき、児童生徒への指導や保護者への啓発を強化。
学校運営協議会で協議する場面も多く見られた。

○避難訓練

学校名	取組内容
幌別小	避難訓練(地震・火災) 5/11 教室から避難 6/30 休み時間の避難 集団下校訓練 学期1回 校外班ごとによる下校訓練 9/9 幌東小・幌別中合同で津波対策避難訓練実施 小学生は中学生や地域の方に見守られながら避難所に向かう計画だったが雨天により合同開催を中止。1年生単独開催で幌中グラウンドへ避難訓練。
幌西小	5/22 火災想定避難訓練 9/9 全市一斉津波避難訓練(西陵中や地域との合同避難訓練)
鷺別小	5/23 火災避難訓練 講師:消防署職員 9/1 北海道シェイクアウトに参加 9/6 一日防災学校津波避難訓練(全校児童による垂直避難経路確認) 胆振防災教育デー
登別小	4/25 火災避難訓練 7/6 立ち止まり訓練(中休み) 9/9 全市一斉防災避難訓練 9/13 地震・津波・大雨洪水避難訓練(高台避難想定) 12/7 立ち止まり訓練(中休み) 1/26 身支度訓練
富岸小	4/21 地震・火災時の避難訓練 7/4 休み時間を想定した地震・火災時の避難訓練 9/9 小中一貫・地域連携避難訓練(津波避難) 亀田公園まで避難、富岸町内会による避難誘導協力引き渡し訓練
幌東小	4/26 火災避難訓練 7/17 スタディちゃんの家駆け込み訓練 9/9 幌東小・幌小・幌別中合同で津波対策避難訓練を実施 2/2 津波を想定した避難訓練、工学院女子寮ドミトリーまで避難
若草小	5/11 火災避難訓練 7/22 引き渡し訓練 8/25 シェイクアウト訓練 9/9 津波避難訓練 11/22 シェイクアウト訓練
青葉小	5/17 避難訓練(火災想定) 9/9 避難訓練(地震・津波想定)…「地域合同」
幌別中	6/1 火災想定避難訓練を実施 9/9 市内一斉合同避難訓練
鷺別中	6/23 避難訓練(火災) 9/9 避難訓練(津波)高台(室蘭自動車学校方面)の避難場所への移動 →雨天のため校内で実施(避難中止)
登別中	4/26 火災を想定した避難訓練 9/9 地震津波を想定した高台避難訓練(町会合同訓練)
西陵中	4/26 火災を想定した避難訓練 8/17 安全研修(SCから不登校の見立て方と自殺予防について) 9/6 胆振防災教育デー(9/9 全市一斉避難訓練)
緑陽中	5/1 火災避難訓練 9/9 津波避難訓練

評価	<p>防犯教室は、近年の不審者通報や実際の被害の増加に伴い、各学校が警察署等の協力を得て、身を守るための具体策を講話や訓練によって学ぶ機会を設定することができた。</p> <p>携帯・スマホの所持率増加を受け、生活リズムの乱れや人間関係のトラブルに対応するため、携帯電話会社やNPO法人の協力を得て、情報モラルに関する教室・授業を行った。</p> <p>通学路の安全については、通学路安全推進協議会を開催、報告のあった危険箇所につい</p>
----	--

	<p>て、関係部署に情報提供した。</p> <p>避難訓練や一日防災教室のほか、災害等が発生した場合、児童生徒が自ら適切に対応できるよう、平時からフェーズフリーの視点を生かした教育活動を実施した。</p>
今後の方向性	<p>安全対策・安全指導については、昨夏、胆振・日高地方にはじめて熱中症警戒アラートが発表されたことを受け、児童生徒が少しでも涼しい環境で授業を受けられるよう、各小中学校の普通教室に移動式スポットクーラーを導入した。</p> <p>さらに、北海道教育委員会が長期休業日に関する学校管理規則を改正し、全道的な夏季休業期間の延長が見込まれるため、登別市においても見直しを行うこととし、令和6年度については、校長会と調整し、夏季休業日数を30日、冬季休業日数を20日とすることとした。</p> <p>また、防災教育の一環として、学校が実施する避難訓練や一日防災教室、フェーズフリーの考え方を意識した日常的な取組のほか、災害等が発生した場合に児童生徒自らが適切な対応がとれるように、危機管理マニュアルを常に見直ししながら、事故等の未然防止に向けた教育活動を推進していく。</p>

項目	10 学校の適正配置
点検内容	<p>学校の適正配置については、令和7年4月に予定する、幌別小学校と幌別東小学校の統合に向け、統合後の環境整備に関する取組を進めるほか、小規模化が課題となっている登別中学校に関しては、「地区別検討委員会」における地域の議論なども踏まえ、適正規模確保に向け、引き続き取り組んでいく。</p>

取組状況

令和3年8月、「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」を策定し、学校の適正配置に向け取組を進めてきた。

幌別中学校と登別中学校の統合に関しては、保護者や地域住民による地区別検討委員会において統合を容認する決定がなされ、令和5年6月に意見書が提出された。これを受け、市教育委員会では、パブリックコメント等を経て、登別中学校の統合に関する方針を策定し、令和9年4月1日に統合することを正式に決定するとともに、統合に向けた環境整備や統合にあたって生じる課題への対応方法などについて協議を行うため、両校関係者による学校統合委員会を設置した。

協議は、学校統合委員会の下に設けられた登別中学校区検討部会と新校区検討部会を中心に行われ、令和6年3月には、統合後の校名・校歌・校章、制服のあり方、現在の登別中学校区からの通学方法について中間意見書が提出された。

これを受け市教育委員会では、統合後の環境整備等に関する方針（校名等／制服／通学方法）を策定した。

【学校の適正配置に関する協議（令和5年度）】

（登別中学校区における地区別検討委員会・学校統合委員会）

令和5年 4月12日	第4回地区別検討委員会
令和5年 5月24日	第5回地区別検討委員会
令和5年 6月27日	第6回地区別検討委員会
令和5年11月15日	第1回学校統合委員会
令和5年11月22日	第1回登別中学校区検討部会
令和5年12月 7日	第1回新校区検討部会

令和5年12月20日	第2回登別中学校区検討部会
令和5年12月21日	第2回新校区検討部会
令和6年1月31日	第3回登別中学校区検討部会
令和6年2月7日	第3回新校区検討部会
令和6年3月6日	第2回学校統合委員会

評価	<p>基本方針策定時の想定を上回る速さで児童・生徒数が減少し、市内の複数の学校で、基本方針に掲げた規模の目安を満たさない状況が生じていることなどを踏まえ、令和3年8月に、「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のランドデザイン～」を策定し、学校の適正配置に向け具体的な取組を進めてきた。</p> <p>幌別小学校と幌別東小学校については、令和7年4月の統合に向け、両校の教職員により統合後の教育課程のあり方など、学校を中心に検討が進められている。</p> <p>登別中学校については、保護者や地域住民による地区別検討委員会で統合の容認がなされたことから、令和9年4月1日に幌別中学校と統合することを正式に決定した。また、学校統合委員会において、統合に向けた環境整備や統合にあたって生じる課題への対応方法などの協議を進めるなど取組を着実に進めた。</p>
今後の方向性	<p>登別中学校については、令和6年8月に学校統合委員会より最終的な意見書の提出を受け、幌別中学校との統合後の環境整備等に関する方針を策定した。今後は、両校関係者で組織する学校統合委員会を設置し、教育課程のあり方のほか、生徒同士の事前交流事業や特色ある教育の取組、通学方法などに関して議論を進めていく。</p> <p>また、近年の登別市の出生数の激減による少子化の加速傾向を考慮し、平成26年5月に策定した「登別市学校適正配置基本方針」の改訂を進めていく。</p>

項目	11 社会教育
点検内容	市民一人ひとりの取組の成果が地域活動へつながり、活動で生まれた交流を通じて新たな地域活動が展開されていく生涯学習社会の実現に向け、各種施策に取り組んでいく。

取組状況

○「第6次社会教育中期計画」に基づいた主な各種施策

- ・人づくり①青少年世代～これからのまちづくりを担う青少年の健全な育成と地域教育力の向上

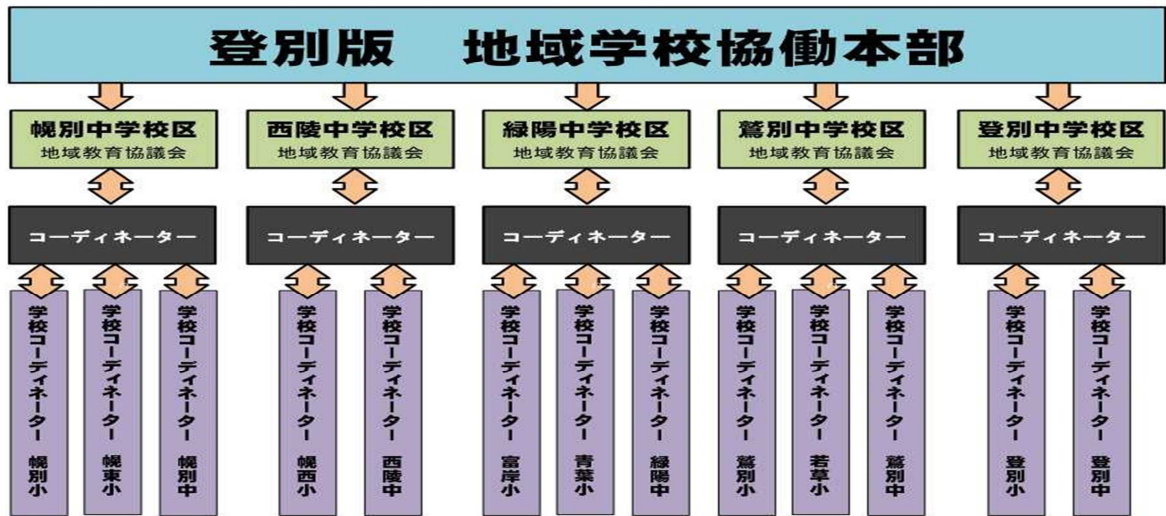
地域学校協働本部事業	各中学校区	コーディネーターを配置し体験活動を実施
少年の主張大会	登別中	中学生が日常生活での体験や日ごろ考えていること等について発表を行う少年の主張大会を開催した。
放課後子ども教室	鶯小・東小	放課後に子どもが安心して活動できる居場所づくり ひなわしメート147名登録 はまなすメート13名登録
二十歳のつどい	市民会館	市と実行委員による企画、運営 出席者 367/559名 R6.1.7

- ・人づくり②成人世代～学習意欲の向上の奨励と地域活動の担い手の発掘・育成

- ・人づくり③高齢者世代～学習機会の充実と地域の模範となる高齢者の活動による地域教育力の向上

登別ときめき大学	84名登録	事務局主催の基礎コースと各団体の講座を連携コースとした生涯学習事業。基礎コース8講座
市民マイプラン講座	市内各所	サークル等が企画した講座や学習会を支援する。 利用団体=9団体（文化団体等）

- ・「学習環境の整備」生涯学習人材バンク 登録者（個人：45名、団体：37団体、仲間募集：41団体）



○「学校支援地域本部」「地域学校協働本部」への発展について

- ・これまで「学校支援地域本部」として推進してきた体制を基盤とし、令和元年度より「地域学校協働本部」へと移行し、「学校コーディネーター」を各学校に1名配置することを目指し、段階的に体制整備を進める。

評価	<p>市民一人ひとりが生きがいを持って自分らしさを追い求めることができる生涯学習社会の実現に向け、人づくりという観点から各世代に応じた事業を展開することができた。</p> <p>5つの中学校区に配置されているコーディネーターを中心に、学校コーディネーターの配置など体制の強化に努めた。</p>
今後の方向性	<p>市民一人ひとりが、生きがいをもって自分らしさを追い求めることができる生涯学習社会の実現に向けて、各種施策に取り組んでいく。</p>

項目	12 文化・スポーツの振興
点検内容	<p>文化・スポーツの振興については、人口減少や少子高齢化が進み、関係団体の会員の減少や活動の縮小が進むなど、課題が顕著化していることから、市民の多様な交流を基本に、世代や団体の垣根を越えた地域とともにある文化・スポーツの振興の実現に向けて、関係団体相互の連携の強化と役割の整理に取り組んでいく。</p> <p>また、学校部活動の段階的な地域移行の推進については、引き続き学校関係者等との協議を図りつつ新たな地域クラブを立ち上げ、これを運営する一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団を支援し、市立中学校の生徒が文化芸術やスポーツに継続的に親しむことができる環境づくりを構築していく。</p> <p>さらに、川上公園野球場などのスポーツ施設において、老朽化等により一部利用に支障が生じていることから、これらの解消を図るとともに、市民会館及び市民プールにおいて、照明のLED化を進めていく。</p>

取組状況

○西いぶり定住自立圏文化事業

公演 ジミーオールスターズ プレミアムライブ スペシャルゲスト鈴木聖美

11/18 来場者777名 主管：室蘭市

- 小学校での文化芸術体験～舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）～
文化庁実施事業の活用。市内小学校6年生を対象に実施。
演目は狂言、公演団体は一般社団法人三宅狂言会。
ワークショップ9/27 代表校の若草小学校で開催 狂言についての説明を受け、実際に体験
公演 10/17 狂言（盆山・兎・茸）市民会館大ホールで開催 若草小児童及び教員16名出演

- 学校での郷土芸能の伝承
鷺別小学校～鷺別子ども獅子舞（令和5/3/31付けで休止のまま）
幌別東小学校～幌別駒おどり 休止
登別中学校～熊舞 8/25 「ヌプル」
8/26 地獄まつり（ホテルまほろばロビー）
3/9 熊舞引継ぎ式（登別中学校体育館）

- 市民へ文化活動の発表の場を提供 市民会館サークル展 10/12～10/15
市民会館を中心に活動しているサークルの活動紹介と作品展示 13団体出展

- 地域クラブ活動推進事業
市立中学校の生徒が継続してスポーツ・文化活動に親しむことができるよう、新たな地域クラブの運営を推進するための支援等を実施

【主な支援内容】

- ・総括コーディネーターや文化・スポーツ推進コーディネーター（地域おこし協力隊）を配置し、地域クラブの設立、運営支援
- ・地域クラブ活動への移行にかかる中学校等との調整 等

- 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が実施する文化・スポーツ事業への補助

【文化振興事業】

(1) 主催事業

初心者英会話教室	6/1.5.8.12.15.19 7名 10/2.5.12.16.19.23 5名	一般の方を対象に市民会館にて実施
筆ペン習字教室	8/2.9.16.23.30, 9/6 5名	一般の方を対象に市民会館にて実施
ビーズアクセサリ教室	6/20 2名	一般の方を対象に市民会館にて実施
燻製作り体験	11/27 5名	一般の方を対象に市民会館にて実施
スイーツデコ教室	8/6 5名	小学生を対象に市民会館にて実施
楽しい工作教室	7/29 6名	小学生を対象に日本工学院にて実施
美味しいコーヒーの淹れ方教室	10/24 17名	一般の方を対象に市民会館にて実施
親子木育体験	7/30 7名	親子を対象に市民会館にて実施
道新ジュニアクラシック「登別市小・中学生のための札幌コンサート」	6/28 541名	幌別西小、青葉小、緑陽中、西陵中、登別明日中等教育学校前期を対象に市民会館にて札幌コンサートを開催
歌まねスペシャルライブ in登別	2/4 654名	一般の方を対象に市民会館にて実施
駒大苫小牧高校吹奏楽局スペシャル演奏会	1/20 359名	一般の方を対象に市民会館にて実施

(2) 共催事業

市民文化祭	9/3～11/20	各地区において実施
-------	-----------	-----------

文化講演会和心ブラザーズコンサート	2/25 332名	一般の方を対象に市民会館にて講演会を実施
小中学生書初展	2/9～11 271名	市民会館にて小・中学生の書き初めの展示

【スポーツ振興事業】

(1) 主催事業

初心者レディースゴルフ教室	中止	講師の都合がつかず中止
温泉散策ウォーキング	5/20, 10/14 11名	登別温泉にて一般の方を対象に実施
ジュニアソフトテニス教室	12/26. 27, 1/9. 10. 11 4名	総合体育館にて小学生以上を対象に実施
ファミリーフィッシング	5/14, 10/29 15名	室蘭港にて親子を対象に実施
走り方教室	中止	講師の都合がつかず中止
初心者スノーボード教室	2/11. 18 4名	サンライバスキースタジアムにて小学生以上対象に実施
キッズHIPHOP教室	1/6. 13 15名	市民プールにて幼児を対象に実施
ダンスレッスン派遣事業	8/30 59名	令和5年度は登別中に派遣
フットサル教室(エスポラーダ北海道)	3/16 29名	総合体育館にて小・中学生等を対象に実施
軽スポーツ指導者派遣事業	9/25, 10/11. 18 110名	市内各施設にて小学生以上を対象に派遣
市民ソフトボール大会(夏)	6/25 36名	岡志別の森運動公園にて一般の方を対象に開催
市民ソフトボール大会(秋)	10/1 120名	岡志別の森運動公園にて一般の方を対象に開催
市民ボウリング大会(シニア)	8/30 24名	GIGO BOWL室蘭にて一般の方を対象に開催
市民ボウリング大会(一般)	3/6 24名	GIGO BOWL室蘭にて一般の方を対象に開催

(2) 共催事業

市民ミニバレー大会	12/10 42名	総合体育館にて一般の方を対象に開催
-----------	-----------	-------------------

○その他の健康づくり、スポーツ振興事業

市民ラジオ体操会	7/29	鷲別小、青葉小を会場に実施 参加人数132名
西胆振6市町小学生スポーツ交流会	中止	入江運動公園陸上競技場の改修工事に伴い、開催中止
市民スポーツ・健康フェスティバル	10/1	市内体育施設を会場とした市民スポーツ大会 岡志別の森運動公園: パークゴルフ・ソフトボール・ソフトテニス・あそびひろば・ノルディックウォーキング体験に364名参加 市民プール: 水中玉入れ競争・水中障害物競争・水中宝探しゲーム・ビート板乗せ競争・個人水泳タイム計測・トレーニングルーム・ボッチャ・ゲーリング体験に260名参加
学校体育施設開放事業	4月～2月	11施設(小8校、登中、緑中、幌中を開放) 延べ開放日数1,964日 延べ利用団体1,580団体 延べ利用人数19,339名
放課後運動教室事業	通年	【実施小学校】 市内8小学校 【実施回数】 80回 【参加者累計総数】 3,072人 【実施内容】 バドミントン、跳び箱、マット遊び 等

○社会教育施設の主な改修等

市民プール 屋根防水改修工事 空調設備（トレーニング室等）改修工事
 市民会館 照明LED化改修工事
 消火栓ポンプ改修工事
 川上公園野球場 川上公園野球場グラウンド修繕

<p>評 価</p>	<p>各種事業を通じて、市民一人ひとりの豊かな感性や創造性を育み、心豊かな生活を送ることができるとともに、生きがいを感じることができるよう文化活動を進めることができた。</p> <p>また、スポーツについても、市民スポーツ・健康フェスティバルや放課後運動教室事業などのほか、一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が実施する各種初心者教室等の実施により、地域の方々や子供たちに広くスポーツ活動の機会を提供することで健康増進や運動能力の向上を図ることができた。</p> <p>そのほか、一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が令和5年度に新たな地域クラブ「登別市地域クラブ」を設立、運営を開始し、サッカーと野球について休日の地域クラブ活動を令和5年9月から開始することができた。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>文化・スポーツの振興については、「第3次登別市スポーツ推進基本計画」及び「第3次登別市文化振興基本計画」を策定し、市民がスポーツや文化芸術に継続的に親しむことができる環境づくりを推進するとともに、世代や団体の垣根を越えた地域とともにある文化・スポーツの振興に向けて、事業の集約化や関係団体相互のさらなる連携の強化に取り組み、より効率的で効果的な事業を展開していく。</p> <p>また、中学校部活動の段階的な地域移行の推進については、引き続き「登別市地域クラブ」を運営する一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団を支援し、新たなスポーツ・文化芸術チームの休日の活動開始や先行して実施している野球・サッカーチームの平日の活動開始に向けて学校関係者等と連携して取り組んでいく。</p>

<p>項 目</p>	<p>13 ふるさと教育</p>
<p>点検内容</p>	<p>ふるさと教育については、学校等での学習やまちづくりなどで幅広く活用されるよう、郷土資料館の歴史資料について、デジタルアーカイブ化を推進する。</p> <p>また、アイヌ文化の振興については、本年、『アイヌ神謡集』の著者であり、本市を生誕の地とする知里幸恵の生誕120年、そして『アイヌ神謡集』出版100年を迎えることから、昨年に引き続き、知里幸恵の生涯を描いた一人芝居の鑑賞会を学校等で開催する。</p> <p>さらに、市民や観光客が彼女の生誕の地の森を散策できるよう、NPO法人知里森舎とともに整備に取り組むほか、観光交流センター「ヌプル」等との連携を図るなど、アイヌ文化への理解を深め、関心が高まるよう努める。</p>

取組状況

- 郷土の歴史や文化に関する各種講座開催の奨励
- 郷土の歴史を明らかにする文化財の保存、管理
- アイヌ文化の伝承や普及・啓発～登別アイヌ協会や関係NPO法人等の取組支援、事業を通じた「ヌプル」との連携、登別アイヌ協会が実施する儀式的記録撮影のほか、NPO法人知里森舎主催事業の周知等で支援を行った。

(公財)北海道アイヌ協会主催事業に係る経費の一部を補助した。

令和5年が知里幸恵生誕120年、『アイヌ神謡集』出版100年にあたることから、一人芝居「神々の謡」を市内小学校2校や「ヌプル」で上演するなど各種事業を実施した。

◇縄文出前講座 5～7月 市内小学校6校で実施 (6年生259名参加)

◇古文書教室 1/20・27、2/10・3/10 古文書解読の講座・実践・見学編(計4回)を実施。延べ124名参加。

◇アイヌ文化講座(制作・体験)6・7月

登別アイヌ協会の会員等を講師にアイヌ民族の歴史や文化の講演やアイヌ文様の刺しゅうを施したファブリックパネル制作、ウポポイ見学等全5回の講座を実施。参加者延べ51名。

(講演)12/9 厚真町教育委員会学芸員 乾 哲也氏より「遺跡から辿る中世アイヌ史」(参加者31名)と題して講演いただき、市民にアイヌ文化を学ぶ機会を提供した。

◇歴史交流事業

令和5年度は宮城県白石市の文化財担当職員を招き、資料の借用・展示や講演会を開催した。

◇郷土資料館特別展 6～7月「Do you know こけし? part2」

7～9月「語りつぐ、日々のくらしと戦争」

3～4月「はじめまして!—令和5年度新資料—」

◇郷土資料館企画展 4～5月「五月武者人形展」

2～3月「おひなさま人形展」

◇体験学習事業

・郷土資料館事業 5/14 わんぱくサムライ体験

・文化伝承館事業 通年ボランティアSLGによる、べこもちづくりなどの体験 15事業を実施 144名参加

・のぼりべつ文化交流館 5～10月の間に10事業を実施 172名参加

◇各種講演等(学芸員派遣)

5/26 【登別ときめき大学】いい湯だな登別♂歴史の再発見とマチの魅力

3/18 【登別更生保護女性会】意外と知らない?!登別の歴史

評価	令和5年度は知里幸恵の生誕120年、知里幸恵が著した『アイヌ神謡集』の出版100年という節目の年であったことから、一部アイヌ政策推進交付金を活用し、知里幸恵の生涯を描いた一人芝居の上演や映画「カムイのうた」の特別試写会などの事業を実施し、市民のアイヌ文化への理解が深まるよう取組を進めた。新型コロナウイルス感染症流行以前の状況に戻ったことから、郷土資料館やのぼりべつ文化交流館等で、ふるさと教育の基となる文化財の保存、普及・活用の取組を進めた。
今後の方向性	ふるさと教育については、学びの拠点となる「郷土資料館」や「のぼりべつ文化交流館」の在り方について検討を進める。 また、郷土資料館の歴史資料について、学校等での学習やまちづくりなどで幅広く活用されるよう、デジタルアーカイブ化を継続して推進する。 引き続き、アイヌ文化講座等の事業をとおして、アイヌ文化の振興に努める。

項目	14 青少年の健全育成 家庭教育
点検内容	青少年の健全育成については、引き続き「家庭教育学級」を開設し、子育てに関する知識や望ましい生活習慣などを学ぶ機会の確保を図るとともに、親子が共に学び、育ち合う家庭教育の充実に努める。 また、青少年センターを中心に、街頭指導や巡回指導などに取り組むとともに、「こども110番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者と遭遇した場合に備える「駆け込

	み訓練」を実施するなど、学校・家庭・地域と連携し、子どもの非行防止や登下校時の安全確保に努める。
--	--

家庭教育の取組状況

- 令和2年度より市が主体となって、保育所、幼稚園、小学校の保護者を対象に1学級を開設し、交流を図りながら、子育てに関する様々なことを学ぶことのできる学習会（講演会・体験講座等）を年に

第1回	7/20	日常の会話が将来のスキルに!! ～進路相談員から聞く自立を促す子育てコーチング～実践編
第2回	8/26	「パパとママのおうち性教育」 ～息子・娘への性教育～
第3回	10/12	イライラ&ガミガミを手放して子育てを楽しむための「アンガーマネジメント」
第4回	10/27	「スマホ・ネット・ゲームがこどもの成長に与える影響」 ～こどもたちを守るため、未来につながる使い方を考えよう～

- 「放課後子ども教室」～放課後に子どもたちが安全・安心に過ごすことができる活動拠点づくり
活動日時～平日2日間、4～9月午後5時まで 10～3月午後4時まで
運営～コーディネーターや教育活動サポーターなど地域の方々による実行委員会が主体。
鷺別地区放課後子ども教室「ひなわしメート」計 82日間実施 計 4,766名
幌別東小学校区放課後子ども教室「はまなすメート」計 84日間実施 計 345名

- 「地域学校協働本部事業」 参加者数 計 8,619名（大人・児童・生徒とも）

【鷺別中学校区（鷺別小・若草小・鷺別中）】

鷺別小学校	事業内容
6～1月	鬼っ子算数教室 9回
6～11月	畑・花壇整備 6回
2～3月	ひな人形飾り 2回
2/16	スキー授業
若草小学校	事業内容
5月	授業中のふれあい農園 2回
6～3月	鬼っ子算数教室 12回
2/9	スキー授業
7/20	世代間交流

【緑陽中学校区（富岸小・青葉小・緑陽中）】

富岸小学校	事業内容
5月・8月	授業中のふれあい農園 2回
6～2月	鬼っ子算数教室 9回
4月	登下校見守り 3回
2月	スキー授業 2回
2/3	餅つき（3校合同）
1/28	冬祭り（3校合同）
2/15	学習支援
2/22	家庭科補助

7/14	世代間交流
青葉小学校	事業内容
6～1月	鬼っ子算数教室 8回
1月	漢字検定学習支援 2回
2/3	餅つき(3校合同)
1/28	冬祭り(3校合同)
9/6	世代間交流
1/31	スキー授業
緑陽中学校	事業内容
2/3	餅つき(3校合同)
1/28	冬祭り(3校合同)

【幌別中学校区(幌別小・幌別東小・幌別中)】

幌別小学校	事業内容
5～2月	鬼っ子算数教室 12回
2/21+	スキー授業
7/5	世代間交流
10/15	乗馬体験(3校合同)
5～12月	ふれあい農園(3校合同) 3回
幌別東小学校	
5～2月	鬼っ子算数教室 11回
2/14	スキー授業
11/17	世代間交流
10/15	乗馬体験(3校合同)
5～12月	ふれあい農園(3校合同) 3回
幌別中学校	
10/15	乗馬体験(3校合同)
5～12月	ふれあい農園(3校合同) 3回

【西陵中学校区(幌別西小・西陵中)】

幌別西小学校	事業内容
6～12月	鬼っ子算数教室 10回
7月	夏休み学習サポート 2回
9/9	地域との合同避難訓練
4～11月	畑・花壇整備 6回
10/28	マンドリン鑑賞会
6/30	世代間交流
2/15	スキー授業
西陵中学校	事業内容
9/9	地域との合同避難訓練等

青少年センターの取組状況

○登下校の見守り活動や街頭指導、巡回指導

・市内巡回パトロール(通常・特別)実施状況 ※ () 内は昨年度実績

	通常巡回		特別巡回	合 計
	鷺別・緑陽 校区	登別・幌別・西陵・明日 校区	(列車添乗・祭典その他)	
延べ日数	221日(222日)	226日(232日)	40日(50日)	487日(504日)
延べ巡回数	401回(376回)	400回(408回)	55回(78回)	856回(862日)
延べ人員	585人(543人)	576人(601人)	149人(143人)	1,310人(1,287人)
指導人数	7人(12人)	14人(2人)	0人(0人)	21人(14人)

※指導の内訳（その他にはゲームコーナーを含む）

	自転車等			危険な行為			その他			合 計		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
13歳未満	10	4	6	2	8	15	0	0	0	14	12	21
13歳	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0
14歳	0	2	0	4	0	0	0	0	0	4	2	0
15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	6	6	7	8	15	0	0	0	20	14	21

指導内容と推移(前年度比)

「自転車等」 自転車並進運転2件(0件)急な飛び出し1件(+1件) 車道逆走3件(+1件) 自転車の二人乗り0件(-2件)

「危険な行為」 スケートボード8件(昨年同数)キックスケーター7件(+7件)

・万引き状況（調査を依頼し報告を受けたもの）

（単位：件数）

	小学生	中学生	高校生	小中高以外	合計
2年度	2	1	2	6	11
3年度	1	0	4	16	21
4年度	1	0	0	11	12
5年度	1	1	0	6	8

※市内大型店2店舗、市内コンビニ19店舗、その他21店舗、計42店舗の協力による。

・不審者・変質者出没状況

（単位：件数）

	温泉地区	登別地区	幌別地区	鷺別地区	その他	合計
2年度	0	0	9	8	0	17
3年度	0	0	8	6	0	14
4年度	0	1	6	11	0	18
5年度	1	6	1	5	0	13

○子ども110番の家 地域住民・商店の協力による子どもの駆け込み場所

内訳：鷺中校区82件 緑中校区99件 幌中校区111件 西陵中校区40件 登中校区55件

○情報の共有

- ・登別市青少年指導委員連絡会～学校教員と一般の指導員による交流、状況や指導の重点を確認。
- ・登別市小学校・中学校合同生徒指導担当者連絡会議～小学校・中学校他代表教諭による現状や課題などについての情報交流、協議、問題行動の早期発見や未然防止を図る。
- ・不審者出没状況調査、巡回パトロール活動及び街頭指導等状況調査による情報発信。

<p>評 価</p>	<p>家庭教育学級では、さまざまな取組を通して、家庭の教育力の向上を図ることができた。一方で、保護者のライフスタイルが多様化する中、参加者の減少傾向が生じていることなどから、参加者のニーズ把握に努め、内容や開催方法を検討することが必要である。</p> <p>放課後子ども教室、地域学校協働本部事業においては、地域ボランティアの協力のもと、子どもたちに豊かな学びの場を提供することができた。</p> <p>巡回パトロールでは、突発的な事案発生に伴う特別巡回の実施など、状況に応じた対応を執ることができた。学校から「児童生徒が登校していない（あるいは、帰宅していない）」という通報を受けて、巡回した案件が数件あった。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>青少年健全育成については、子どもたちの健やかな成長と豊かな人間形成のため、親が相互に学び合う場としての「家庭教育学級」を通じて、子育てに関する知識や望ましい生活習慣などを学ぶ機会を提供していく。</p> <p>また、学校・家庭・地域と青少年センターが連携し、街頭指導や巡回指導などを継続して非行防止に努めるとともに、「こども110番スタディちゃんの家」を活用し、不審者と遭遇した場合などを想定した「駆け込み訓練」などを実施し、登下校時の安全確保に努める。</p>

<p>項 目</p>	<p>15 学校給食</p>
<p>点検内容</p>	<p>学校給食については、衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、郷土を実感できる食材を取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努める。</p> <p>学校給食センターについては、室蘭市との協議の結果、令和11年度の供用開始を目的に、給食センターの広域設置に関し具体的検討を進めることを表明した。</p> <p>設置場所や設置・運営方式、両市の負担のあり方など、事業の概要や方向性については、本年末までに正式に示していく。</p> <p>また、学校給食費については、今般の食材料費等の高騰から値上げせざるを得ない状況であるが、市長部局からの臨時的な財政支出を受けて、本年度においては据え置くこととし、保護者に対する間接的な経済的支援を行っていく。</p>

取組状況

- 地元の食材を積極的に取り入れた献立づくり（使用回数 100 回 使用率 48.5% ※牛乳除く）
 - 毎日提供している「のぼりべつ牛乳」をはじめ、だし昆布、鮭のダイスカット、ホッケなど、地場産品を積極的な活用に努めたほか、野菜については入札規格等において近隣市町村産品または道産品を指定し、広域的な地産地消の取組も実施した。
 - また、「えんまラーメン」など、地元を身近に感じられる献立を提供。地場産品の使用内容を献立表やランチメールなどに記載して各学校や保護者に配布したほか、令和5年度からは市SNSを活用して市民にも周知した。
- 発達期にある児童・生徒に豊かでおいしい給食の提供
 - 文部科学省の学校給食摂取基準等に基づき、学校栄養教諭が献立を作成するなど、児童・生徒の栄養価やエネルギーなどバランスの摂れた給食を提供した。児童・生徒の体力不足を補い丈夫な体をつくるため、学校教育Gと連携して各小学校に栄養教諭を派遣し、食育授業を年12回実施した。
- 「和食」を伝えるための給食の実施
 - 食育の日である毎月19日付近を「和食の日」とし、主食・主菜・副菜・汁物を揃えたメニューを提供した。

月	和食の日の献立
4月	ごはん、豆腐とわかめの味噌汁、 ホッケ塩焼き、ひじき大豆煮
5月	ごはん、もずく入味噌汁、 登別産ホッケ和風フライ、きんぴらごぼう
6月	ごはん、いも団子汁、さばの味噌煮、 きんぴらごぼう
7月	ごはん、せんべい汁、 登別産真ホッケザンギフライ、ひじき大豆煮
8月	ごはん、豚汁、ぶりカツ、 切干し大根煮
9月	ごはん、さつま汁、たらザンギ ひじき大豆煮

月	和食の日の献立
10月	ごはん、豆腐となめこの味噌汁、 さばの味噌煮、ごぼうサラダ
11月	ごはん、もずく入り味噌汁、 いわしのゆず味噌煮、ひじき大豆煮
12月	ごはん、豆腐となめこの味噌汁、 胆振産真ホッケ西京フライ、切干し大根煮
1月	ごはん、雑煮、たらザンギ
2月	ごはん、豆腐とわかめの味噌汁、 若鶏のごま照り焼き、切干し大根煮
3月	ごはん、豆腐となめこの味噌汁、 真ホッケザンギフライ、きんぴらごぼう

○食におけるアレルギー対応

①情報の共有

- ・学校や関係機関（医療関係や消防機関等）と、給食センターのアレルギー対応や各学校におけるアレルギーを有する児童・生徒の状況、緊急時の対応などの情報を共有し連携を図った。
- ・学校や保護者から連絡等があった場合は、一層きめ細やかな対応等に努めた。

②実際の対応～学校から教育委員会を經由し給食センターへ提出される「取組プラン」により対応。

牛乳アレルギー：小学校 10 名→緑茶に変更

中学校（北海道登別明日中等教育学校含む）8 名→緑茶に変更

③給食センターからの情報発信

予定献立表（小中学校及び児童・生徒へ配布、給食センターウェブサイト、市 SNS に掲載）

主食（パン・麺）や使用調味料の原材料及びアレルギー一覧表（給食センターウェブサイトに掲載）

ランチメール（小中学校へ配布、給食センターウェブサイト、市 SNS に掲載）

評価	<p>献立に地元食材及び近隣市町村産品や道産品を活用するとともに、その周知を図ることにより、児童・生徒が地域の食に対する関心を高め、郷土愛を育むことに貢献することができた。</p> <p>また、各小中学校に栄養教諭を派遣して実施する食育授業が定着するとともに、栄養学的視点からの授業に偏ることなく、児童・生徒の健康維持・増進及び体位の向上に寄与することができた。</p> <p>学校給食センターについては、室蘭市との協議の結果、令和 1 1 年年度の供用開始を目途に、給食センターの広域設置することを令和 5 年 1 2 月に合意した。</p>
今後の方向性	<p>『学校給食』については、引き続き衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、地場産品をできる限り取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努める。</p> <p>学校給食費については、令和 6 年度においても据え置くこととし、保護者に対する間接的な経済的支援を行っていく。</p> <p>また、学校給食センターについては、令和 1 1 年年度の供用開始を目途に、室蘭市と広域設置の合意書を取り交わしたところであり、令和 6 年度については、基本計画の策定に向けた準備など、具体的に協議を進めていく。</p>

項目	16 図書館
点検内容	図書館については、質の高い魅力ある図書館を目指して、資料の収集整備に努めるとともに、引き続き郷土資料のデジタル化に取り組むほか、子どもの読書環境の整備と施策の推進のため、「第4次登別市子ども読書活動推進計画」を策定する。

取組状況

- 令和5年度 図書館全体での貸出冊数 141,957 冊
このうち移動図書館車での貸出冊数 13,596 冊、購入冊数 5,237 冊
- 図書ボランティアとの連携・協働
 - 「おはなしぼけっと」のおはなし会（12回）、「絵本を楽しむ会」のおはなし会（1回）
 - 「朗読ボランティアの会」の「大人のための朗読会」（3回）
 - 特集展示「おはなしぼけっと おすすめ絵本『冬』（11/25～12/6）
 - 特集展示「おはなしぼけっと『春の土の中から』（2/21～3/13）
- 市民や関連機関との協働事業
 - 講演会「ドローンで『みえる』今と未来」（4/30、市民提案）
 - 展示「油絵三人展～はじめての油絵～」（8/15～22、市民提案）
 - 幼稚園・保育所の年長児の読書感想画展（9/15～30、市内幼稚園・保育所）
 - 講演「堀田仁助-蝦夷地を測った津和野藩士-」（9/2、市民提案）
 - 特集展示「街道重昭写真展-野辺歩きの拾いもの」（2/10～25、市民提案）
 - 講演「立花隆 臨死・脳死・死生観をめぐって」（2/17、市民提案）
 - 講座「あなたの知らない たたらの世界」（2/21、市民提案）
 - アーニス分館「絵手紙を楽しむ会」（5～10月）
- 市役所各部署との連携事業
 - 「登別市立小中学校教科書展」（学校教育グループ、6/16～29）
 - 「世界アルツハイマー月間展」（健康長寿グループ、9/1～12）
 - 「自殺予防展」（健康推進グループ、9/3～16）、「論語展」（企画調整グループ、11/16～22）
- ブックスタート・ライブラリースタート事業や図書館講座などを通して、利用者の増加を図る。
 - ・ブックスタート（4か月児を対象に、絵本2冊とアドバイス集などを配布。実施数159人）
 - ・ライブラリースタート（3歳児と保護者を対象に図書館で本1冊を選び送付。実施数68人）
- 主なイベント等の事業（◇は「ふるさと学習」と関連）
 - 4/19～5/13 こどもの読書週間「かとうまふみさん作品展」「こどもの日 こども★フェスタ 2023」（5/5）
 - 4/30 講演会「ドローンで『みえる』今と未来」講師：横山奈津江氏（ドローンパイロット）
 - 5/13 「かとうまふみさんワークショップ」講師：かとうまふみ氏（絵本作家）
 - 6/16～29 「登別市立小学校・中学校教科書展」
 - 6/30 「学校図書担当者・図書ボランティア連絡会議」
 - 7/15 「夏休み工作」
 - 7/26 「アーニス分館 夏休みのお楽しみ会」
 - 8/15～22 油絵三人展～はじめての油絵～
 - 9/1～12 「世界アルツハイマー月間」展示 共催：健康長寿グループ
 - 9/2 講演会「堀田仁助-蝦夷地を測った津和野藩士-」講師：神英雄氏（島根地理学会会長）
 - 9/15～30 幼稚園・保育所の年長児の読書感想画展
 - 11/3 雑誌の付録ラッキーくじ引き会
 - 11/25～12/6 「おはなしぼけっと おすすめ絵本『冬』」

- 12/16 「クリスマス工作」、展示「クリスマスの本」(12/8～25)
- 1/20 「小・中学生の読書感想文コンクール表彰式」
- 2/10～25 「街道重昭写真展－野辺歩きの拾いもの」
- 2/17 講演会「立花隆 臨死・脳死・死生観をめぐって」講師：高澤秀次氏(文芸評論家)
- 2/21 ◇郷土文化講座「あなたの知らないたたらの世界」(室蘭登別たたら会)
- 3/16～4/20 「本と雑誌のリサイクル市」
- 毎月 「こども映画会」「名画鑑賞会」「えほんのへやのおはなし会」「デジタル分館のおはなし会」
- 新規事業 ①児童書フロアのレイアウトを一部変更し、利用者の利便性向上を図った。
 ②登別及びアイヌ関連の観光絵はがき並びに登別の鳥瞰図の寄贈を受け、館内に展示した。
 ③登別配本所への図書寄贈を受け、「マンガ・イラストで学習できるコーナー」を設置した。

<p>評 価</p>	<p>図書館市民活動サポーター等による企画提案事業を実施するなど、市民との連携・協働を進めることができた。</p> <p>また、館内の壁面を利用した展示方法により、寄贈資料を効果的に活用することができたほか、児童書フロアのレイアウトを変更したことでカウンター機能が集約され、利用者の利便性は基より職員の業務効率も向上した。</p> <p>これらと併せ、令和4年度に整備した3階の参考資料室も活用して市民一人ひとりのニーズにしっかり対応できる質の高い図書館に向けて、資料・施設・サービスの向上に取り組んだ。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>『図書館』については、質の高い魅力ある図書館を目指して、資料の収集整備を進めるとともに、イベントやデジタル図書の紹介、参考図書室の市民への情報発信を積極的に行い、利用促進を図る。</p> <p>また、「第4次登別市子ども読書活動推進計画」に基づき、読み聞かせ講習会など保護者への読書啓発に関する事業を実施していく。</p>

3 重点施策の評定結果

	項 目	点 検 内 容	R4 評定	R5 評定
1	地域とともに にある学校 づくり	本市においては、近隣の自治体に先駆けて、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進してきた。 令和5年度は、市内全小中学校に学校運営協議会を設置して10年の節目となるので、これまでの成果と課題を検証し、今後の方向性を明らかにする一年にするとともに、地域の皆様のお力添えをいただきながら、地域と学校の連携・協働体制の構築を推進し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく。	B	A
2	確かな学力 の向上 英語教育 学校図書館	確かな学力の向上については、本市の児童生徒の課題となっている算数・数学科の学習支援として、小学校4年生から6年生までを対象に、オンライン演習教材を導入し、学習内容の確実な定着と学力の底上げを図っていく。 タブレット端末を活用した学びの充実については、北海道立教育研究所や登別市情報教育推進協議会と連携し、教職員研修を開催するとともに、ICTを積極的かつ効果的に活用した教育環境の整備に努めることにより、児童生徒の情報活用能力の育成に努めていく。 英語教育については、外国語専科教員やALTを効果的に活用し学校生活において日常的に英語に親しむ時間を充実させることにより、とりわけ児童生徒の「聞く・話す」能力の向上を図っていく。 学校図書館については、各学校へ学校司書を配置し、授業支援や読書支援の一層の充実を図るほか、児童生徒が気軽に立ち寄ることができる場所として、学校図書館の環境改善を進めていく。	B	B
3	教職員の指 導力の向上 働き方改革 (ICTの活 用を含む)	教職員の指導力の向上については、引き続き登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援するとともに、研究成果の還元を工夫・充実していく。また、道教委や各種団体が主催する研修等を積極的に活用し、指導力の一層の向上に努める。 登別市教育委員会デジタルフェローの知見を積極的に活用し、教員のニーズに応じた研修を充実させることにより、ICTを活用した指導力の向上を図り、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に努める。 また、デジタル教科書の本格導入に向けては、引き続き国が進める「学びの保証・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」に参加するとともに、指導者用デジタル教科書などを整備しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていく。 さらに、道教委の指定を受けた「学校力向上に関する総合実践事業」における成果を生かしながら、学校の働き方改革を一層推進し、児童生徒に対して効果的で質の高い教育活動が持続的に行われるよう、努める。	A	A
4	豊かな人間 性の育成 キャリア教 育	豊かな人間性の育成については、学校行事や学級活動、児童会・生徒会活動を通して、自己肯定感や自己有用感を醸成し、人権を尊重し他者を思いやる教育を展開していく。 また、地域を担う人材の育成という観点から、地域資源を生かした体験活動やキャリア教育のさらなる充実と努めるとともに、地域社会に対する理解を深める取組や教育活動の一層の推進に努める。	B	A

5	いじめ・ 不登校対策	<p>いじめ・不登校対策については、引き続き登別市いじめ・不登校等対策会議での事例研修等を通じて、学校現場に携わる関係者一人ひとりがいじめ・不登校を最重要課題の一つと捉えるとともに、いじめの未然防止や早期発見・早期対応、不登校となった児童生徒に対して個別最適な支援を推進するため、教育支援センター機能の充実に努める。</p> <p>また、いじめられていると感じたらすぐに自分の身を守るため、一人で悩まずに誰かに知らせる行動がとれるよう、「SOSの出し方に関する教育」を推進し、体験的な活動を取り入れた授業にも取り組んでいく。</p> <p>そのほか、令和3年度から実施している「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャツデー」への参画を継続し、児童生徒がいじめ問題を主体的に考え、各校の児童会・生徒会活動の成果と課題を共有する機会を設けるなど、引き続き「みんなが通いたくなる学校づくり」の取組を推進していく。</p>	A	A
6	健康・ 体力づくり	<p>健康・体力づくりについては、コロナ禍の影響により、学校における児童生徒の運動機会が減少しており、毎年実施される「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果からも体力の低下が確認できることから、引き続き小学校へのスポーツ指導員の派遣などを通して、体育指導の充実や運動の習慣化を図っていく。</p> <p>また、「ノーゲームデー」や「登別市ケータイ・スマホ3つのルール」の周知徹底、家庭における「早寝早起き朝ごはん」の啓発など、登別市PTA連合会や登別市校長会等の協力を得ながら、規則正しい生活習慣の定着を粘り強く周知し、健全な心身の育成に努める。</p>	A	A
7	幼保小中連携 小中一貫教育	<p>幼保小中連携については、引き続き登別市幼保小中連携協議会や登別市幼保小実務担当者会議等を通じ、円滑な学校間連携や接続を実現するために、相互参観や教職員・子どもの交流を継続するとともに、スタートカリキュラムの改善など、発達段階や学びの連続性を踏まえた活動の充実に取り組んでいく。</p> <p>また、「中1ギャップ問題未然防止事業」を推進し、その成果を市内小中学校に還元するとともに「登別市小中一貫教育基本方針」や各中学校区に設定する「目指す子ども像」に基づき、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導のさらなる充実に努める。</p>	A	A
8	特別支援教育	<p>特別支援教育については、登別市教育支援委員会などによる教育相談の充実や関係機関との連携により、特別な支援や合理的な配慮を必要とする児童生徒が幼児期から一貫した支援を受けられるよう、支援体制の充実に努める。</p>	A	A
9	安全対策・ 安全指導	<p>安全対策・安全指導については、学校が実施する避難訓練や一日防災教室などによる防災教育のほか、災害等が発生した場合に児童生徒自らが適切な対応がとれるよう、平時からフェーズフリーの視点を生かした教育活動を推進していく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策については、国や北海道の通知に準拠して教育委員会が作成している基本対応マニュアル等を常に見直しながら、感染状況を的確に把握し、感染症の拡大防止と歩みを止めない教育活動の両立に努める。</p>	A	A
10	学校の適正 配置	<p>学校の適正配置については、令和7年4月に予定する、幌別小学校と幌別東小学校の統合に向け、統合後の環境整備に関する取組を進めるほか、小規模化が課題となっている登別中学校に関しては、「地区別検討委員会」における地域の議論なども踏まえ、適正規模確保に向け、引き続き取り組んでいく。</p>	A	A
11	社会教育	<p>市民一人ひとりの取組の成果が地域活動へつながり、活動で生まれた交流を通じて新たな地域活動が展開されていく生涯学習社会の実現に向け各種施策に取り組んでいく。</p>	A	A

12	文化・スポーツの振興	<p>文化・スポーツの振興については、人口減少や少子高齢化が進み、関係団体の会員の減少や活動の縮小が進むなど、課題が顕著化していることから、市民の多様な交流を基本に、世代や団体の垣根を越えた地域とともにある文化・スポーツの振興の実現に向けて、関係団体相互の連携の強化と役割の整理に取り組んでいく。</p> <p>また、学校部活動の段階的な地域移行の推進については、引き続き学校関係者等との協議を図りつつ新たな地域クラブを立ち上げ、これを運営する一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団を支援し、市立中学校の生徒が文化芸術やスポーツに継続的に親しむことができる環境づくりを構築していく。</p> <p>さらに、川上公園野球場などのスポーツ施設において、老朽化等により一部利用に支障が生じていることから、これらの解消を図るとともに、市民会館及び市民プールにおいて、照明のLED化を進めていく。</p>	A	A
13	ふるさと教育	<p>ふるさと教育については、学校等での学習やまちづくりなどで幅広く活用されるよう、郷土資料館の歴史資料について、デジタルアーカイブ化を推進する。</p> <p>また、アイヌ文化の振興については、本年、『アイヌ神謡集』の著者であり、本市を生誕の地とする知里幸恵の生誕120年、そして『アイヌ神謡集』出版100年を迎えることから、昨年に引き続き、知里幸恵の生涯を描いた一人芝居の鑑賞会を学校等で開催する。</p> <p>さらに、市民や観光客が彼女の生誕の地の森を散策できるよう、NPO法人知里森舎とともに整備に取り組むほか、観光交流センター「ヌプル」等との連携を図るなど、アイヌ文化への理解を深め、関心が高まるよう努める。</p>	A	A
14	青少年の健全育成 家庭教育	<p>青少年の健全育成については、引き続き「家庭教育学級」を開設し、子育てに関する知識や望ましい生活習慣などを学ぶ機会の確保を図るとともに、親子が共に学び、育ち合う家庭教育の充実に努める。</p> <p>また、青少年センターを中心に、街頭指導や巡回指導などに取り組むとともに、「こども110番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者と遭遇した場合に備える「駆け込み訓練」を実施するなど、学校・家庭・地域と連携し、子どもの非行防止や登下校時の安全確保に努める。</p>	A	A
15	学校給食	<p>学校給食については、衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、郷土を実感できる食材を取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努める。</p> <p>学校給食センターについては、室蘭市との協議の結果、令和11年度の供用開始を目途に、給食センターの広域設置に関し具体的検討を進めることを表明した。</p> <p>設置場所や設置・運営方式、両市の負担のあり方など、事業の概要や方向性については、本年末までに正式に示していく。</p> <p>また、学校給食費については、今般の食材料費等の高騰から値上げせざるを得ない状況であるが、市長部局からの臨時的な財政支出を受けて、本年度においては据え置くこととし、保護者に対する間接的な経済的支援を行っていく。</p>	A	A
16	図書館	<p>図書館については、質の高い魅力ある図書館を目指して、資料の収集整備に努めるとともに、引き続き郷土資料のデジタル化に取り組むほか、子どもの読書環境の整備と施策の推進のため、「第4次登別市子ども読書活動推進計画」を策定する。</p>	B	A

IV 点検・評価に関する学識経験者の意見等

- 地域とともにある学校づくり
地域の中で子どもたちと多く接するのは町内会の組織が多いため、町内会関係の方々との接触を図るような機会が各学校でも取れると、より子どもの様子や生活が把握できると考える。また、町内会と子どもの関係がさらに密接となり、地域の活性化を図ることができると思うので、町内会関係の方々とはコンタクトを取れるような組織づくりをお願いしたい。
- 確かな学力の向上 英語教育 学校図書館
小学生時代に子どもに教科を通して端末の使い方を教えることは将来的に子どもにとってプラスになっていくと考えるが、それが学力に直結するような即効性があるものではないと感じる。できるだけ先生方に夏休み・冬休みでも時間を使って頑張ってもらいたい。
特に算数が上向きにならないということで、以前中学校の放課後学習、現在は小学校の算数、鬼っ子算数をやっているが、子どもたちの様子を見てみると、算数の九九が十分定着していない。その場で理解したから良いということではなく、完全に身につくまで日常的な指導が必要ではないかと感じるので、基本的なことを是非学校で取り組むような体制を考えてほしい。
タブレットを使うことも多くなってきているが、鉛筆を使わないため筆圧が落ちる、文字が上手に書けない、自分の書いたことや考えたことを後戻りして振り返る場面がないなどの懸念があるので、鉛筆を使って自分で考え方を順番通り書ける力をもってほしいと感じる。各学校へ話す機会があればお願いしたい。
- 教職員の指導力の向上 働き方改革（ICTの活用を含む）
教職員の指導の向上ということで、今は小規模校が多くなってきており、相談する力・意欲のある方ばかりではなく、内にこもって悩んでしまう教職員もいると思うので、そのような教職員の動向を把握したり、課題や問題を取り上げて、共通の課題・問題点として話し合えるような場の設定を各学校でやっていく必要があると考える。例えば、教職員同士の交流の場を多く学校で作って、悩んでいる先生方の内心を引き出してあげられるような学校作りをお願いしたい。
ICT活用というものは教育に関わらず色々な職場などで進めていくものであり、登別市はGoogleを使っていたり、デジタルフェローがいて、使い方の研修であればGoogleでも良いが、それをどのように教育に使うかというところを現場の先生から引き出す機会を大切にしてほしい。
- いじめ・不登校対策
令和5年度末に認知したいじめについては令和6年度5月に全て解消しているということだが、いじめの行為は解消しても子どもたちの精神状況は解消しているのかということに疑問が残るので、その後の子どもへの経過観察や指導を継続してほしい。
- 幼保小中連携 小中一貫教育
幼保小中連携について、内容については評定Aで良いが、評価項目でcを選んだ以上はAで良いのかという感じがした。評価項目について検討すべきである。

○ 安全対策・安全指導

移動式スポットクーラーを導入し、音の問題により授業中には作動させることができていない状況というのは疑問である。予算をかけるのであれば、よく検討して子どもたちや先生方が本当に良かったというものをに入れてほしい。

登別小学校の学校運営協議会の中で出た内容だが、車が歩道まで出ないと車道の様子がわからない。角に塀があったり垣根があったりして歩道の様子もよくわからない場所があり、停止線についても全ての場所にあるわけではないという状況なので、そういう危険場所を確認してほしい。

○ 学校の適正配置

統合について保護者に対する色々な説明会が行われたが、小学校の保護者にお子さんが中学校へ行ったらこういう状況になるということをもっと丁寧に指導する機会をつくるべきである。今後も説明会を続けてもらえれば保護者の皆さんも少しは安心したり、子どもたちも少し前向きに考えてもらえるのではないかと考える。

統合後の廃校となった学校の子どもたちや教職員の資料、歴史の保管については、地域に開放できるくらいの資料館等が用意できないかと期待を寄せている。

○ ふるさと教育

自分のふるさとといえば、歴史よりも子どもの頃に住んでいた地域の自然や山河、海、湖、周囲の環境や周りの珍しい施設、人間関係、地域のことなどを学ぶこともふるさと教育に繋がるのではと思うので、地域との結びつきをどう進めていくかということも大事なことだと思う。地域との関わりによって子どものふるさとを想う心を育てていくということが大切ではないかと考える。

○ 学校給食

アレルギー対応について、学校給食センターで個別の対応を本当にこまめに対応していただいて、安心して給食を摂るという点で助かった経緯がある。広域で給食センターができるときにも、アレルギーをもった子どもがいる家庭は心配していると思うので、引き続き個に対応していただきたい。

○ 図書館

図書館について、本の単価が上がっていると思うが、学校図書も含めて本の購入費等の予算について心配である。

● 全体を通して

各項目の評価については、取組状況を書いていて評価でない内容が多い。特に学校教育の評価という項目をもう一度見直して評価に値するような表現をした方が良いと感じる。

V 評価のまとめ

令和5年度の登別市教育委員会の重点施策として、点検・評価で取り上げた16項目の評定結果は、

A：達成しているもの・・・・・・・・・・・・・・・・	15項目
B：おおむね達成しているもの・・・・・・・・	1項目
C：おおむね達成しているものの一部課題があるもの・・・・	0項目
D：達成に向け困難な課題があるもの・・・・・・・・	0項目

であり、教育行政執行方針に沿っておおむね適切な教育行政の執行がなされたと考えております。今後も、この点検・評価の効果を高めるために、各種基本計画の内容を再確認するとともに、目標に向かってより多くの具体的な改善策が提示されるようにしなければならぬと考えております。また、PDCA（計画・実行・確認・改善）のマネジメントサイクルを生かしたシステムづくりに心がけ、登別市の教育行政の推進に役立ててまいります。

VI 参考資料

1 令和5年度 教育行政執行方針

令和5年第1回登別市議会定例会にあたり、私の教育行政に取り組む基本姿勢並びに所信の一端について申し上げ、市民の皆様、そして、市議会議員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

私が教育長に就任してから3か月が経ちましたが、改めて職責の重さを痛感しながら、日々、職務を遂行しております。

皆様の負託にお応えできるよう、全力で教育行政の推進に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、今後の教育行政の執行にあたって、私の基本的な考え方について申し上げます。

私は、長年にわたって小学校に勤務し、様々な体験や学習活動を通して、登別の子もたちとふれあい、共に歩んでまいりました。

この自らの経験を強みとして、未来を担う子どもたちに、一層の成長を促すとともに、将来にわたって持続可能な社会の担い手となることができるよう、実効性のある教育施策を総合的、計画的に推進してまいります。

また、登別ならではの特色ある教育活動を通じて、将来にわたって住みよい、住み続けたいと思える郷土の魅力に触れ、「ふるさと登別」を誇りに思う心を育てまいります。

さて、3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の流行や不安定な国際情勢により、私たちの平穏な日常は脅かされ、これまでの価値観が大きく揺さぶられております。

こうした先行きが不透明で将来の予測が困難な時代において、多様化・複雑化している課題を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていくためには、人とのつながりや思いやりを大切にしながら、自らが共生社会の創り手として成長していくことが必要であります。

教育委員会としましては、教育における「不易」と「流行」を見極め、学校・家庭・地域が一体となって、誰一人取り残さない、あらゆる他者を価値のある存在として尊重する質の高い教育の推進に努めてまいります。

以下、令和5年度の重点項目について申し上げます。

はじめに地域とともにある学校づくりについてであります。

本市におきましては、近隣の自治体に先駆けて、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進してまいりました。

令和5年度は、市内全小中学校に学校運営協議会を設置して10年の節目となりますので、これまでの成果と課題を検証し、今後の方向性を明らかにする一年にするとともに、今後も地域の皆様のお力添えをいただきながら、地域と学校の連携・協働体制の構築を推進し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えてまいります。

次に学校教育についてであります。

確かな学力の向上については、本市の児童生徒の課題となっている算数・数学科の学習支援として、小学校4年生から6年生までを対象に、新たにオンライン演習教材を導入し、学習内容の確実な定着と学力の底上げを図ってまいります。

1人1台端末を活用した学びの充実については、北海道立教育研究所や登別市情報教育推進協議会と連携し、教職員研修を開催するとともに、ICTを積極的かつ効果的に活用した教育環境の整備に努めることにより、児童生徒の情報活用能力の育成に努めてまいります。

英語教育については、外国語専科教員や外国語指導助手を効果的に活用し、学校生活において日常的に英語に親しむ時間を充実させることにより、とりわけ児童生徒の「聞く・話す」能力の向上を図ってまいります。

学校図書館については、中学校の学校司書を増員し、授業支援や読書支援の一層の充実を図るほか、児童生徒が気軽に立ち寄ることができる場所として、学校図書館の環境改善を進めてまいります。

教員の指導力の向上については、引き続き登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援するとともに、研究成果の還元を工夫・充実してまいります。

また、道教委や各種団体が主催する研修等を積極的に活用し、指導力の一層の向上に努めてまいります。

本年1月に委嘱した登別市教育委員会デジタルフェローの知見を積極的に活用し、教員のニーズに応じた研修を充実させることにより、ICTを活用した指導力の向上を図り、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に努めてまいります。

また、デジタル教科書の本格導入に向けては、引き続き国が進める「学びの保証・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」に参加するとともに、指導者用デジタル教科書などを整備しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげてまいります。

さらに、道教委の指定を受けた「学校力向上に関する総合実践事業」における成果を生かしながら、学校の働き方改革を一層推進し、児童生徒に対して効果的で質の高い教育活動が持続的に行われるよう、努めてまいります。

豊かな人間性の育成については、学校行事や学級活動、児童会・生徒会活動を通して、自己肯定感や自己有用感を醸成し、人権を尊重し他者を思いやる教育を展開してまいります。

また、地域を担う人材の育成という観点から、地域資源を生かした体験活動やキャリア教育のさらなる充実にも努めるとともに、地域社会に対する理解を深める取組や教育活動の一層の推進に努めてまいります。

いじめ・不登校対策については、引き続き登別市いじめ・不登校等対策会議での事例研修等を通じて、学校現場に携わる関係者一人ひとりがいじめ・不登校を最重要課題の一つと捉えるとともに、いじめの未然防止や早期発見・早期対応、不登校となった児童生徒に対して個別最適な支援を推進するため、教育支援センター機能の充実にも努めてまいります。

また、いじめられていると感じたらすぐに自分の身を守るため、一人で悩まずに誰かに知らせる行動がとれるよう、「SOSの出し方に関する教育」を推進し、体験的な活動を取り入れた授業にも取り組んでまいります。

そのほか、令和3年度から実施している「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャツデー」への参画を継続し、児童生徒がいじめ問題を主体的に考え、各校の児童会・生徒会活動

の成果と課題を共有する機会を設けるなど、引き続き「みんなが通いたくなる学校づくり」の取組を推進してまいります。

健康・体力づくりについては、コロナ禍の影響により、学校における児童生徒の運動機会が減少しており、毎年実施される「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果からも体力の低下が確認できることから、引き続き小学校へのスポーツ指導員の派遣などを通して、体育指導の充実や運動の習慣化を図ってまいります。

また、「ノーゲームデー」や「登別市ケータイ・スマホ3つのルール」の周知徹底、家庭における「早寝早起き朝ごはん」の啓発など、登別市PTA連合会や登別市校長会等の協力を得ながら、規則正しい生活習慣の定着を粘り強く周知し、健全な心身の育成に努めてまいります。

幼保小中連携については、引き続き登別市幼保小中連携協議会や登別市幼保小実務担当者会議等を通じ、円滑な学校間連携や接続を実現するために、相互参観や教職員・子どもの交流を継続するとともに、スタートカリキュラムの改善など、発達段階や学びの連続性を踏まえた活動の充実に取り組んでまいります。

また、「中1ギャップ問題未然防止事業」を推進し、その成果を市内小中学校に還元するとともに、「登別市小中一貫教育基本方針」や各中学校区に設定する「目指す子ども像」に基づき、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導のさらなる充実を努めてまいります。

特別支援教育については、登別市教育支援委員会などによる教育相談の充実や関係機関との連携により、特別な支援や合理的な配慮を必要とする児童生徒が幼児期から一貫した支援を受けられるよう、支援体制の充実を努めてまいります。

安全対策・安全指導については、学校が実施する避難訓練や一日防災教室などによる防災教育のほか、災害等が発生した場合に児童生徒自らが適切な対応がとれるよう、平時からフェーズフリーの視点を生かした教育活動を推進してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、国や北海道の通知に準拠して教育委員会が作成している基本対応マニュアル等を常に見直ししながら、感染状況を的確に把握し、感染症の拡大防止と歩みを止めない教育活動の両立に努めてまいります。

学校の適正配置については、令和7年4月に予定する、幌別小学校と幌別東小学校の統合に向け、統合後の環境整備に関する取組を進めるほか、小規模化が課題となっている登別中学校に関しては、「地区別検討委員会」における地域の議論なども踏まえ、適正規模確保に向け、引き続き取り組んでまいります。

次に社会教育についてであります。

市民一人ひとりの取組の成果が地域活動へつながり、活動で生まれた交流を通じて新たな地域活動が展開されていく生涯学習社会の実現に向け、各種施策に取り組んでまいります。

文化・スポーツの振興については、人口減少や少子高齢化が進み、関係団体の会員の減少

や活動の縮小が進むなど、課題が顕著化していることから、市民の多様な交流を基本に、世代や団体の垣根を越えた地域とともにある文化・スポーツの振興の実現に向けて、関係団体相互の連携の強化と役割の整理に取り組んでまいります。

また、学校部活動の段階的な地域移行の推進については、引き続き学校関係者等との協議を図りつつ新たな地域クラブを立ち上げ、これを運営する一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団を支援し、市立中学校の生徒が文化芸術やスポーツに継続的に親しむことができる環境づくりを構築してまいります。

さらに、川上公園野球場などのスポーツ施設において、老朽化等により一部利用に支障が生じていることから、これらの解消を図るとともに、市民会館及び市民プールにおいて、照明のLED化を進めてまいります。

ふるさと教育については、学校等での学習やまちづくりなどで幅広く活用されるよう、郷土資料館の歴史資料について、デジタルアーカイブ化を推進します。

また、アイヌ文化の振興については、本年、『アイヌ神謡集』の著者であり、本市を生誕の地とする知里幸恵の生誕120年、そして『アイヌ神謡集』出版100年を迎えることから、昨年に引き続き、知里幸恵の生涯を描いた一人芝居の鑑賞会を学校等で開催いたします。

さらに、市民や観光客が彼女の生誕の地の森を散策できるよう、NPO法人知里森舎とともに整備に取り組むほか、観光交流センター「ヌプル」等との連携を図るなど、アイヌ文化への理解を深め、関心が高まるよう努めてまいります。

青少年の健全育成については、引き続き「家庭教育学級」を開設し、子育てに関する知識や望ましい生活習慣などを学ぶ機会の確保を図るとともに、親子が共に学び、育ち合う家庭教育の充実に努めてまいります。

また、青少年センターを中心に、街頭指導や巡回指導などに取り組むとともに、「こども110番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者と遭遇した場合に備える「駆け込み訓練」を実施するなど、学校・家庭・地域と連携し、子どもの非行防止や登下校時の安全確保に努めてまいります。

学校給食については、衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、郷土を実感できる食材を取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努めてまいります。

学校給食センターについては、室蘭市との協議の結果、令和11年度の供用開始を目途に、給食センターの広域設置に関し具体的検討を進めることを表明しました。

設置場所や設置・運営方式、両市の負担のあり方など、事業の概要や方向性については、本年末までに正式に示してまいりたいと考えております。

また、学校給食費については、今般の食材料費等の高騰から値上げせざるを得ない状況ですが、市長部局からの臨時的な財政支出を受けて、本年度においては据え置くこととし、保護者に対する間接的な経済的支援を行ってまいります。

図書館については、質の高い魅力ある図書館を目指して、資料の収集整備に努めるとともに、引き続き郷土資料のデジタル化に取り組むほか、子どもの読書環境の整備と施策の推進のため、「第4次登別市子ども読書活動推進計画」を策定いたします。

以上、令和5年度の重点項目について申し上げます。

教育委員会としましては、学校・家庭・地域の連携・協働をさらに進めながら、社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材を育成するとともに、共に学び支え合う社会の実現に向けた教育を推進してまいります。

市民の皆様並びに市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ

